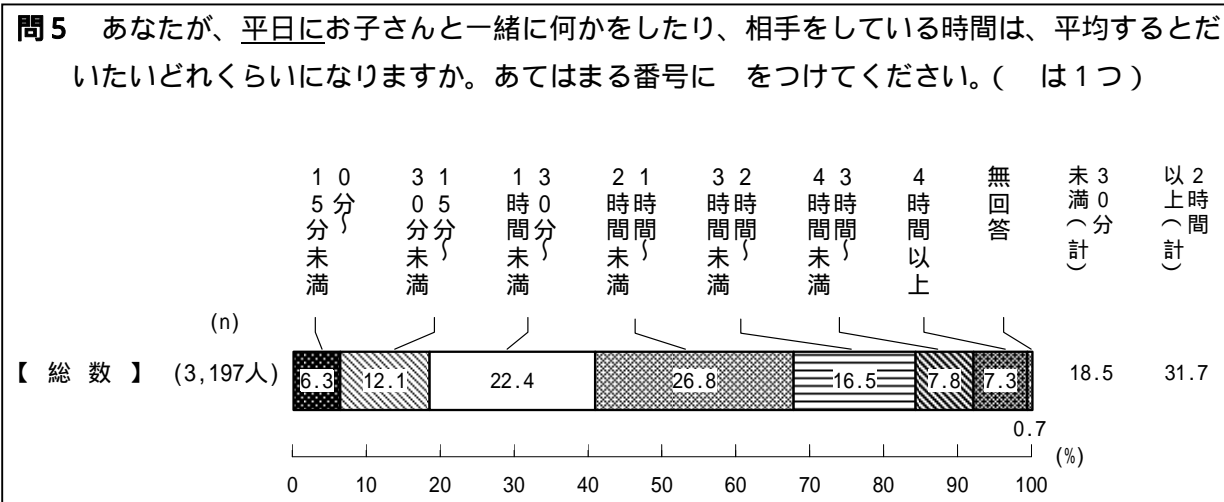


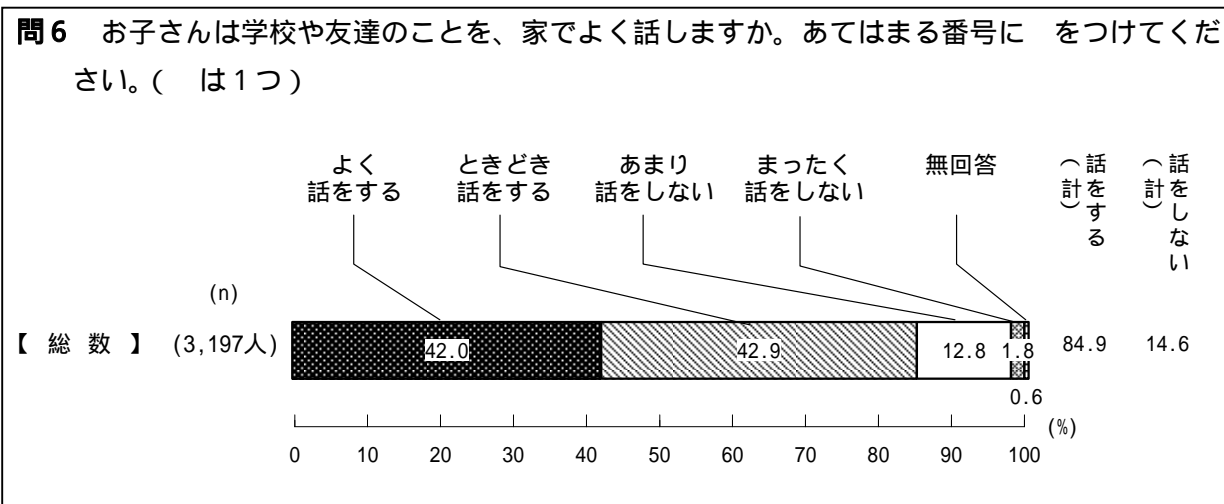
2 保護者調査の結果

1 平日に子と一緒に過ごす時間



平日に子と一緒に過ごす時間について聞いたところ、「1時間～2時間未満」が26.8%、「30分～1時間未満」が22.4%、「2時間～3時間未満」が16.5%となっており、『2時間以上(「2時間～3時間未満」+「3時間～4時間未満」+「4時間以上」)』(31.7%)は全体の3割強となっている。一方で、『30分未満(「0分～15分未満」+「15分～30分未満」)』(18.5%)は2割弱となっている。

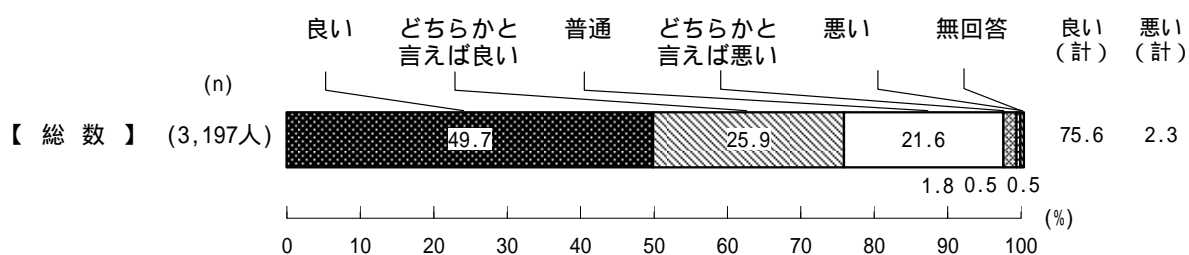
2 学校や友達についての子との会話



子が学校や友達のことを家でよく話すかについて聞いたところ、「ときどき話をする」が42.9%、「よく話をする」が42.0%となっており、『話を「よく話をする」+「ときどき話をする」』は全体の8割半ば(84.9%)となっている。一方で、『話をしない(「あまり話をしない」+「まったく話をしない」)』は14.6%となっている。

3 子との関係

問7 あなたとお子さんとの関係はいかがですか。あてはまる番号に をつけてください。
(は1つ)

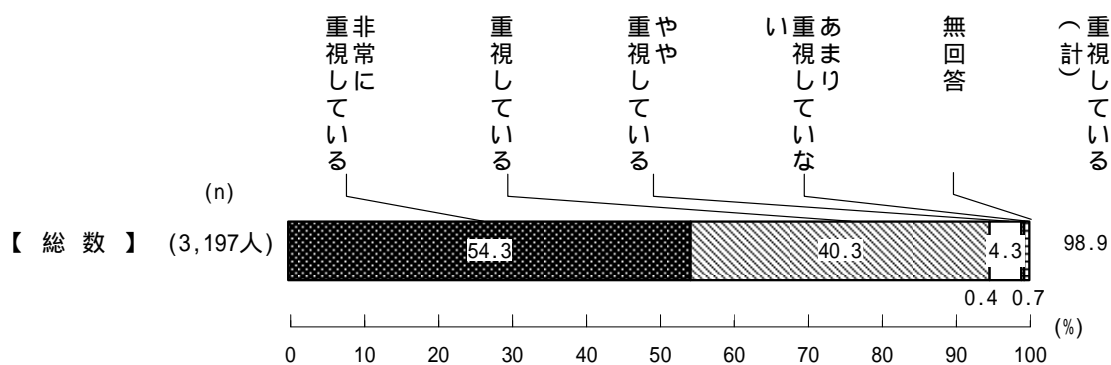


子との関係を聞いたところ、「良い」が49.7%、「どちらかと言えば良い」が25.9%、「普通」が21.6%となっており、『良い(「良い」+「どちらかと言えば良い」)』は全体の7割半ば(75.6%)となっている。一方で、『悪い(「どちらかと言えば悪い」+「悪い」)』は2.3%となっている。

4 子の教育で重視すること(正直であること)

問8 あなたは、お子さんの教育にあたって、どのようなことを重視されていますか。AからJのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。
(はそれぞれ1つずつ)

A 正直であること



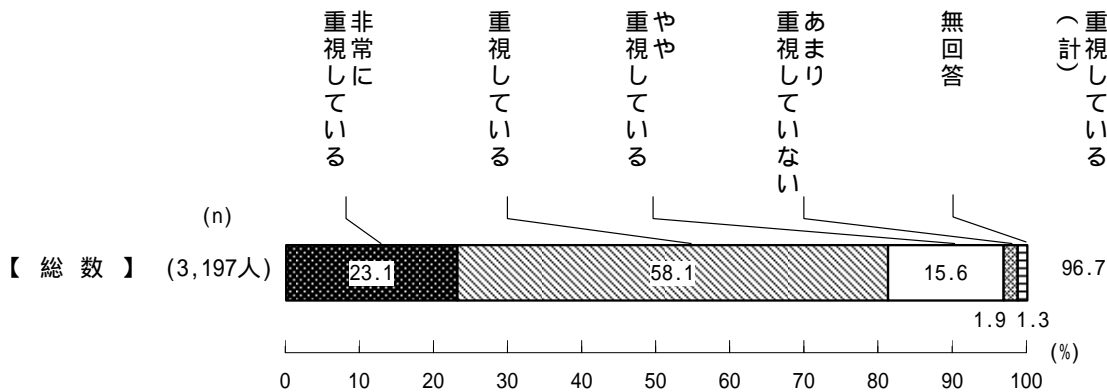
子の教育にあたって、正直であることを重視しているかについて聞いたところ、「非常に重視している」が54.3%、「重視している」が40.3%となっており、『重視している(「非常に重視している」+「重視している」+「やや重視している」)』は9割台後半(98.9%)となっている。一方で、「あまり重視していない」は4.3%となっている。

5 子の教育で重視すること（自制心があること）

問8 あなたは、お子さんの教育にあたって、どのようなことを重視されていますか。AからJのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。

（ はそれぞれ1つずつ）

B 自制心があること



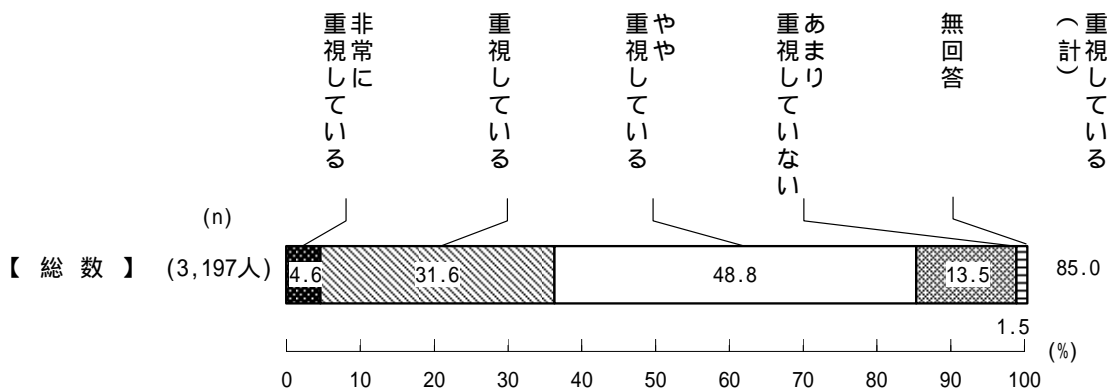
子の教育にあたって、自制心があることを重視しているかについて聞いたところ、「重視している」が58.1%、「非常に重視している」が23.1%となっており、『重視している（「非常に重視している」+「重視している」+「やや重視している」）』は9割台後半（96.7%）となっている。一方で、「あまり重視していない」は1.9%となっている。

6 子の教育で重視すること（両親の言うことに従うこと）

問8 あなたは、お子さんの教育にあたって、どのようなことを重視されていますか。AからJのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。

（ はそれぞれ1つずつ）

C 両親の言うことに従うこと



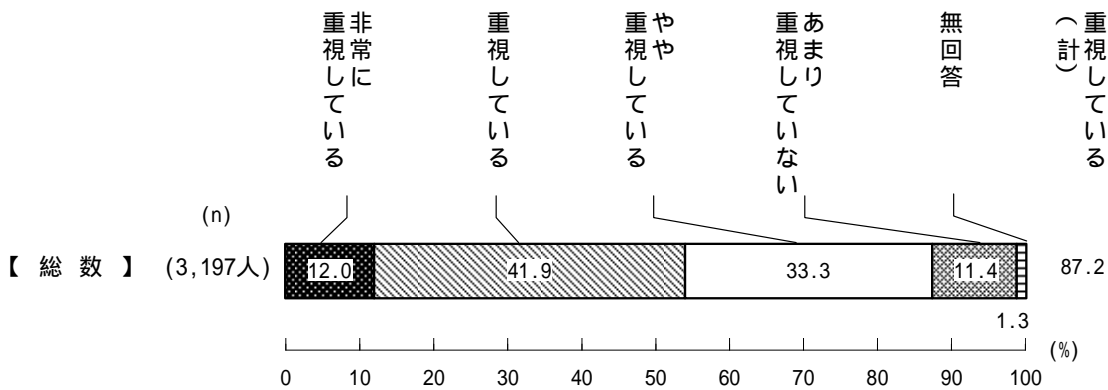
子の教育にあたって、両親の言うことに従うことを重視しているかについて聞いたところ、「やや重視している」が48.8%、「重視している」が31.6%となっており、『重視している（「非常に重視している」+「重視している」+「やや重視している」）』は8割半ば（85.0%）となっている。一方で、「あまり重視していない」は13.5%となっている。

7 子の教育で重視すること（ものごとがどのようにして起こるか興味をもつこと）

問8 あなたは、お子さんの教育にあたって、どのようなことを重視されていますか。AからJのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。

（ はそれぞれ1つずつ）

D ものごとがどのようにして起こるかについて興味をもつこと



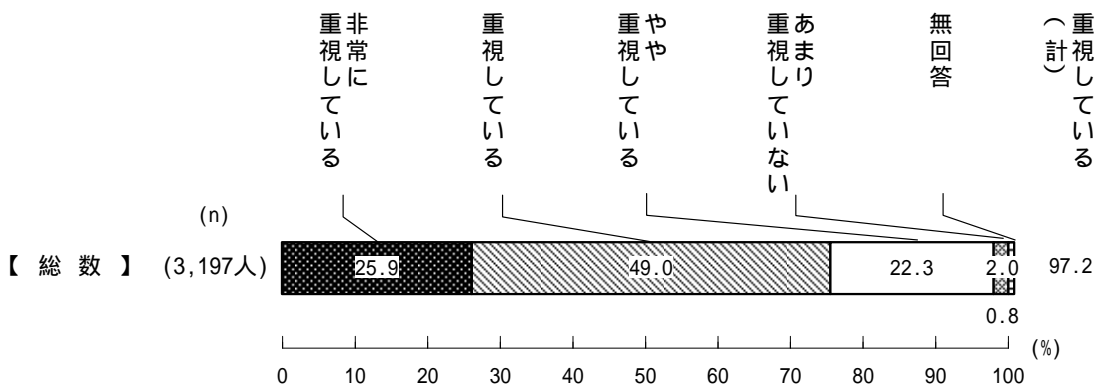
子の教育にあたって、ものごとがどのようにして起こるかについて興味をもつことを重視しているかについて聞いたところ、「重視している」が41.9%、「やや重視している」が33.3%となっており、『重視している（「非常に重視している」+「重視している」+「やや重視している」）』は8割台後半（87.2%）となっている。一方で、「あまり重視していない」は11.4%となっている。

8 子の教育で重視すること（身だしなみがよく清潔にすること）

問8 あなたは、お子さんの教育にあたって、どのようなことを重視されていますか。AからJのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。

（ はそれぞれ1つずつ）

E 身だしなみがよく清潔にすること



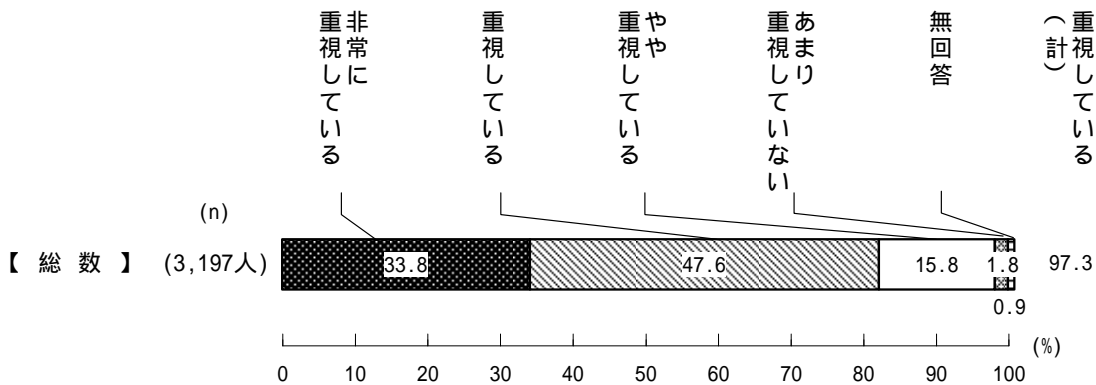
子の教育にあたって、身だしなみがよく清潔にすることを重視しているかについて聞いたところ、「重視している」が49.0%、「非常に重視している」が25.9%となっており、『重視している（「非常に重視している」+「重視している」+「やや重視している」）』は9割台後半（97.2%）となっている。一方で、「あまり重視していない」は2.0%となっている。

9 子の教育で重視すること（目標を立てて努力すること）

問8 あなたは、お子さんの教育にあたって、どのようなことを重視されていますか。AからJのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。

（ はそれぞれ1つずつ）

F 目標をたてて努力すること



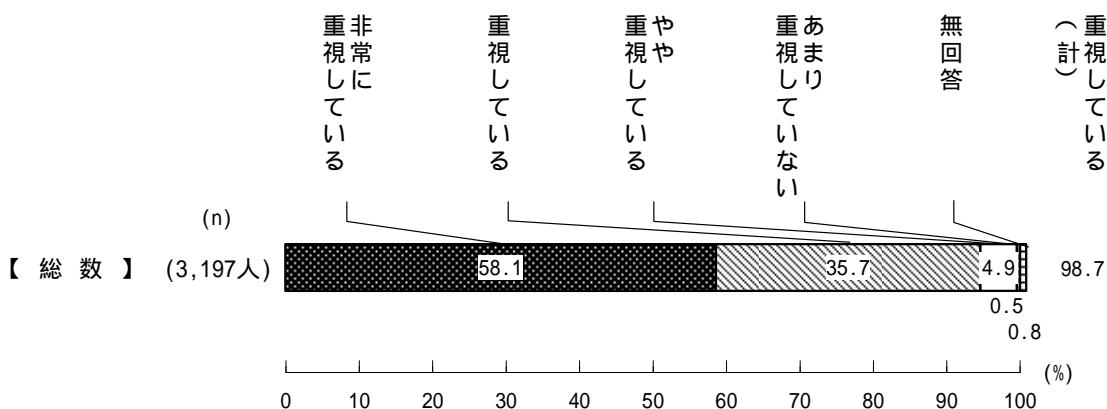
子の教育にあたって、目標を立てて努力することを重視しているかについて聞いたところ、「重視している」が47.6%、「非常に重視している」が33.8%となっており、『重視している（「非常に重視している」+「重視している」+「やや重視している」）』は9割台後半（97.3%）となっている。一方で、「あまり重視していない」は1.8%となっている。

10 子の教育で重視すること（他人を思いやること）

問8 あなたは、お子さんの教育にあたって、どのようなことを重視されていますか。AからJのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。

（ はそれぞれ1つずつ）

G 他人を思いやること



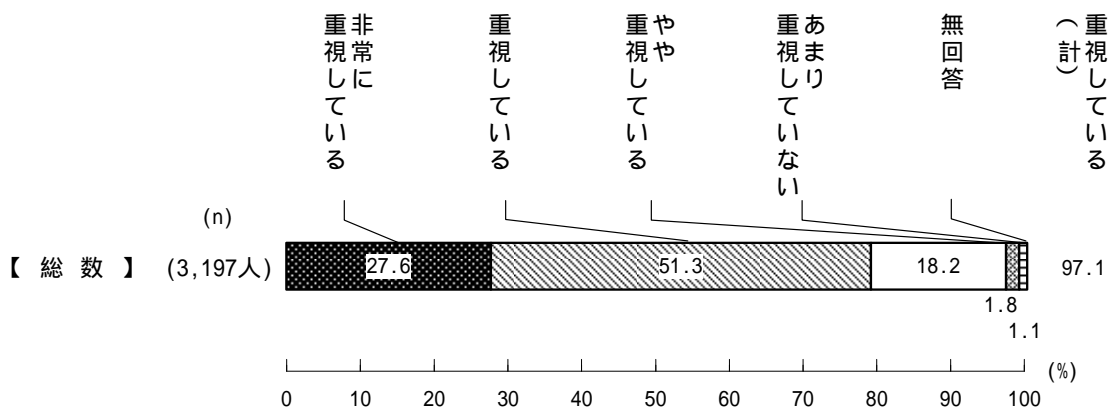
子の教育にあたって、他人を思いやることを重視しているかについて聞いたところ、「非常に重視している」が58.1%、「重視している」が35.7%となっており、『重視している（「非常に重視している」+「重視している」+「やや重視している」）』は9割台後半（98.7%）となっている。一方で、「あまり重視していない」は0.5%となっている。

11 子の教育で重視すること（協調性のあること）

問8 あなたは、お子さんの教育にあたって、どのようなことを重視されていますか。AからJのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。

（ はそれぞれ1つずつ）

H 協調性のあること



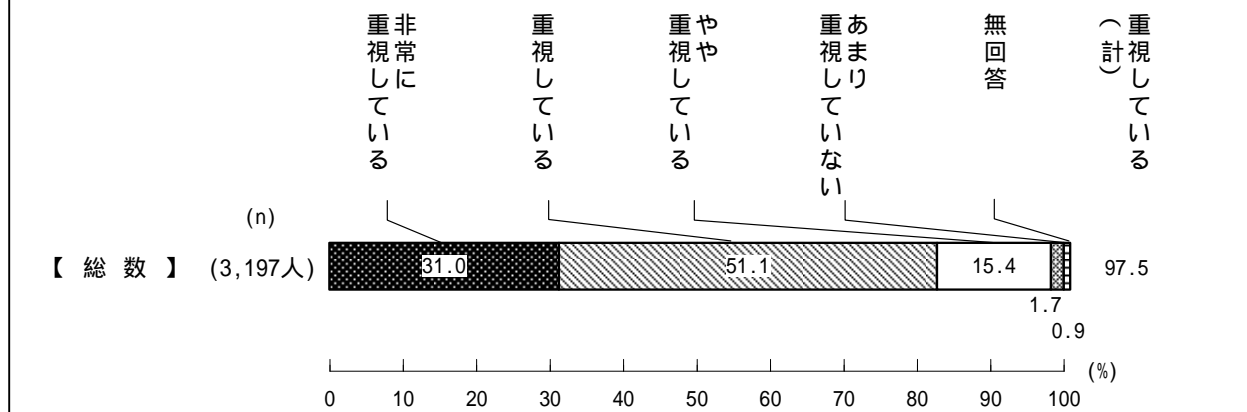
子の教育にあたって、協調性のあることを重視しているかについて聞いたところ、「重視している」が51.3%、「非常に重視している」が27.6%となっており、『重視している（「非常に重視している」＋「重視している」＋「やや重視している」）』は9割台後半（97.1%）となっている。一方で、「あまり重視していない」は1.8%となっている。

12 子の教育で重視すること（自分の意見をはっきり言えること）

問8 あなたは、お子さんの教育にあたって、どのようなことを重視されていますか。AからJのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。

（ はそれぞれ1つずつ）

I 自分の意見をはっきり言えること



子の教育にあたって、自分の意見をはっきり言えることを重視しているかについて聞いたところ、「重視している」が51.1%、「非常に重視している」が31.0%となっており、『重視している（「非常に重視している」＋「重視している」＋「やや重視している」）』は9割台後半（97.5%）となっている。一方で、「あまり重視していない」は1.7%となっている。

表 -2-1 子の教育で重視すること（自分の意見をはっきり言えること）（親構成別）

	n (人)	非常に重視している	重視している	やや重視している	あまり重視していない	無回答	（計）重視している
〔親構成〕							
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	29.9	52.4	15.5	1.5	0.7	97.8
ふたり親世帯（それ以外）	75	45.3	29.3	22.7	2.7	-	97.3
ひとり親世帯	423	33.3	50.1	13.2	1.7	1.7	96.7

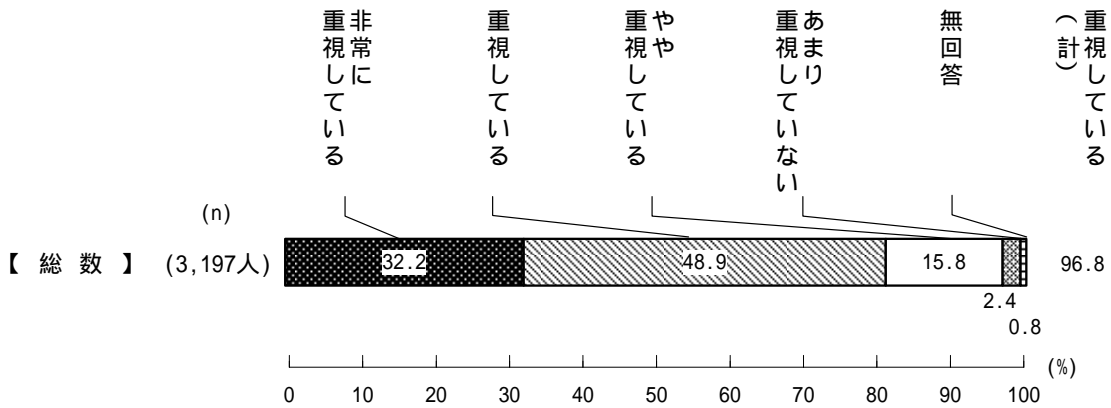
親構成別にみると、「非常に重視している」はふたり親世帯（実父と実母）（29.9%）よりふたり親世帯（それ以外）（45.3%）で多く、15.4ポイント上回っているが、『重視している』では差はみられない。

13 子の教育で重視すること（自立して考えること）

問 8 あなたは、お子さんの教育にあたって、どのようなことを重視されていますか。AからJのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。

（ はそれぞれ1つずつ）

J 自立して考えること



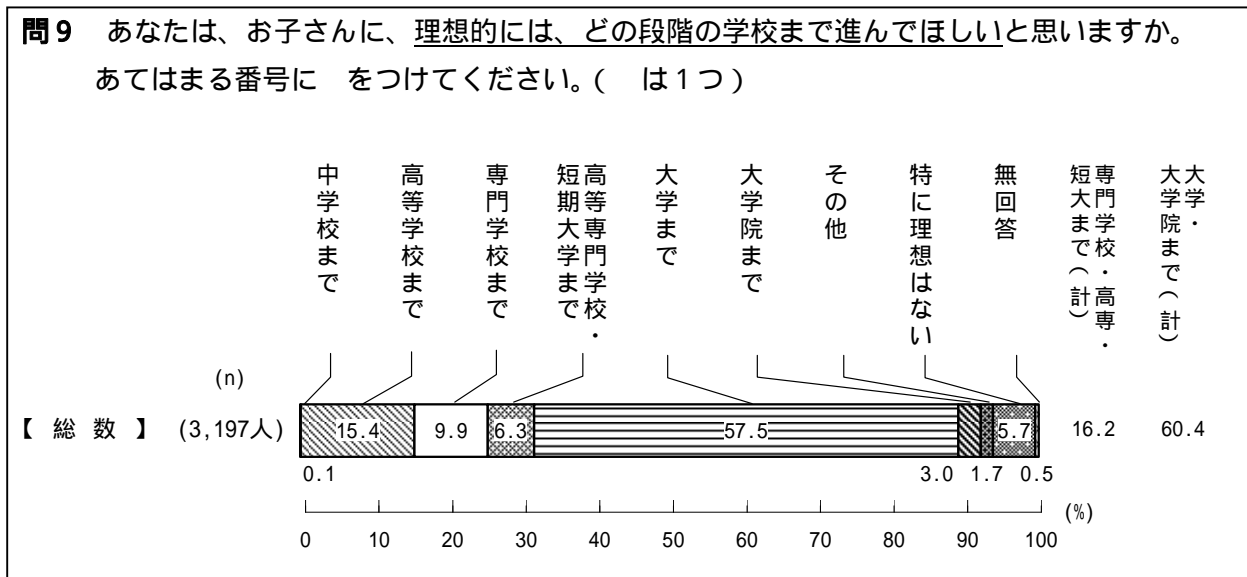
子の教育にあたって、自立して考えることを重視しているかについて聞いたところ、「重視している」が48.9%、「非常に重視している」が32.2%となっており、『重視している（「非常に重視している」+「重視している」+「やや重視している」）』は9割台後半（96.8%）となっている。一方で、「あまり重視していない」は2.4%となっている。

表 -2-2 子の教育で重視すること（自立して考えること）(親構成別)

	n (人)	非常に重視している	重視している	やや重視している	あまり重視していない	無回答	(計)重視している
〔親構成〕							
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	31.9	49.8	15.3	2.4	0.5	97.0
ふたり親世帯（それ以外）	75	32.0	38.7	26.7	2.7	-	97.3
ひとり親世帯	423	33.8	45.9	16.5	2.1	1.7	96.2

親構成別にみると、「やや重視している」はふたり親世帯（実父と実母）(15.3%)よりふたり親世帯（それ以外）(26.7%)で多く、11.4ポイント上回っているが、『重視している』では差はみられない。

14 子の理想的な学歴



子に理想的には、どの段階の学校まで進んでほしいか聞いたところ、「大学まで」が57.5%、「高等学校まで」が15.4%、「専門学校まで」が9.9%となっており、『大学・大学院まで(「大学まで」+「大学院まで」)』は約6割(60.4%)となっている。

表 -2-3 子の理想的な学歴(相対的貧困層別/親構成別)

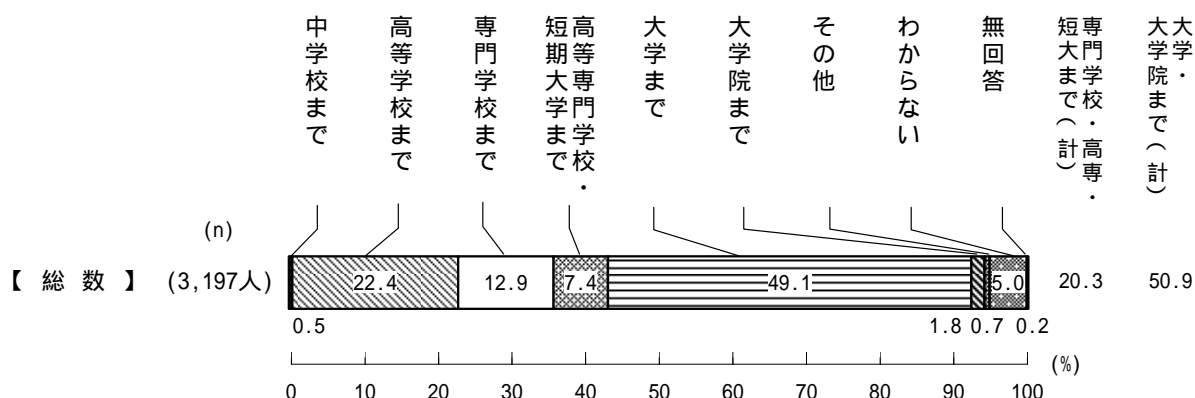
	n(人)	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで	短期大学・専門学校・高等専門学校まで	大学まで	大学院まで	その他	特に理想はない	無回答	短大・専大・高専まで(計)	大学・大学院まで(計)
〔相対的貧困層〕												
相対的貧困層	437	-	34.3	15.3	6.4	34.6	0.9	1.4	6.6	0.5	21.7	35.5
相対的貧困でない層	2649	0.1	11.8	8.9	6.4	61.6	3.4	1.8	5.5	0.5	15.3	65.0
〔親構成〕												
ふたり親世帯(実父と実母)	2569	0.0	12.2	8.7	6.2	62.4	3.2	1.7	5.2	0.5	14.9	65.6
ふたり親世帯(それ以外)	75	-	33.3	24.0	5.3	29.3	-	1.3	6.7	-	29.3	29.3
ひとり親世帯	423	-	29.3	13.7	7.1	37.4	1.2	1.9	8.7	0.7	20.8	38.5

相対的貧困層別にみると、『大学・大学院まで』は相対的貧困層(35.5%)よりも相対的貧困でない層(65.0%)で多く、29.5ポイント上回っている。一方で、「高等学校まで」は相対的貧困層(34.3%)が3割半ばとなっているが、相対的貧困でない層(11.8%)では1割強にとどまっている。

親構成別にみると、『大学・大学院まで』はふたり親世帯(実父と実母)(65.6%)がふたり親世帯(それ以外)(29.3%)、ひとり親世帯(38.5%)より多く、それぞれ36.3ポイント、27.1ポイント上回っている。一方で、「高等学校まで」はふたり親世帯(実父と実母)(12.2%)が1割台前半となっているが、ふたり親世帯(それ以外)(33.3%)、ひとり親世帯(29.3%)ではそれぞれ21.1ポイント、17.1ポイント上回っている。また、「専門学校まで」はふたり親世帯(それ以外)(24.0%)で多く、ふたり親世帯(実父と実母)(8.7%)、ひとり親世帯(13.7%)よりそれぞれ15.3ポイント、10.3ポイント上回っている。

15 子の現実的な学歴

問10 あなたは、お子さんは、現実的には、どの段階の学校まで進むと思いますか。あてはまる番号に をつけてください。(は1つ)



子が現実的には、どの段階の学校まで進むか聞いたところ、「大学まで」が49.1%、「高等学校まで」が22.4%、「専門学校まで」が12.9%となっており、『大学・大学院まで(「大学まで」+「大学院まで」)』は約5割(50.9%)となっている。

表 -2-4 子の現実的な学歴(相対的貧困層別/親構成別)

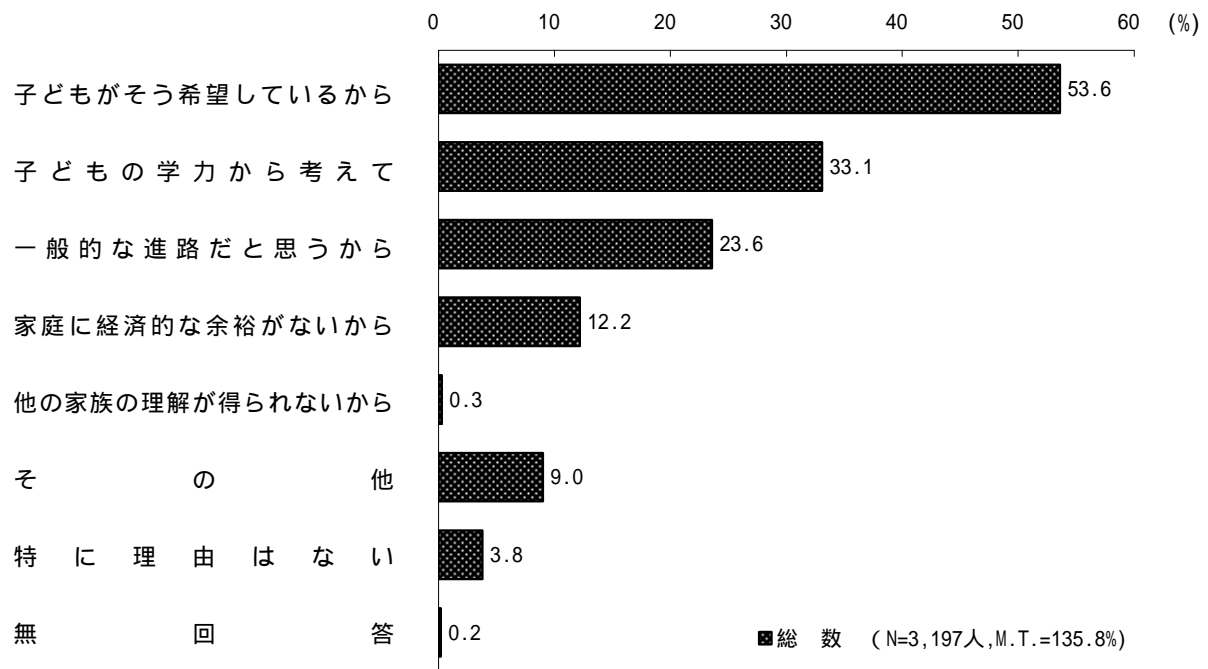
	n(人)	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで	短期大学・専門学校まで	大学まで	大学院まで	その他	わからない	無回答	短大・専大まで(計)	大学・大学院まで(計)
〔相対的貧困層〕												
相対的貧困層	437	1.6	43.7	17.2	8.5	22.9	0.5	1.6	3.9	0.2	25.6	23.3
相対的貧困でない層	2649	0.4	18.5	12.2	7.3	53.9	2.1	0.5	4.9	0.1	19.5	56.0
〔親構成〕												
ふたり親世帯(実父と実母)	2569	0.2	19.0	11.6	7.5	53.8	2.1	0.7	5.0	0.1	19.1	55.9
ふたり親世帯(それ以外)	75	2.7	45.3	18.7	6.7	21.3	-	-	5.3	-	25.3	21.3
ひとり親世帯	423	1.9	38.3	19.1	7.1	28.8	0.7	0.7	3.1	0.2	26.2	29.6

相対的貧困層別にみると、『大学・大学院まで』は相対的貧困層(23.3%)よりも相対的貧困でない層(56.0%)で多く、32.7ポイント上回っている。一方で、「高等学校まで」は相対的貧困層(43.7%)が4割台前半となっているが、相対的貧困でない層(18.5%)では2割弱にとどまっている。

親構成別にみると、『大学・大学院まで』はふたり親世帯(実父と実母)(55.9%)がふたり親世帯(それ以外)(21.3%)、ひとり親世帯(29.6%)より多く、それぞれ34.6ポイント、26.3ポイント上回っている。一方で、「高等学校まで」はふたり親世帯(実父と実母)(19.0%)が2割弱となっているが、ふたり親世帯(それ以外)(45.3%)、ひとり親世帯(38.3%)ではそれぞれ26.3ポイント、19.3ポイント上回っている。

16 子の現実的な学歴の理由

問 11 あなたが問 10 のようにお考えになる理由は何ですか。あてはまる番号すべてにをつけてください。(はいいくつでも)



問 10(子が現実的には、どの段階の学校まで進むか)のように考える理由について聞いたところ、「子どもがそう希望しているから」が 53.6%と最も多く、「子どもの学力から考えて」が 33.1%、「一般的な進路だと思うから」が 23.6%の順となっている。

表 -2-5 子の現実的な学歴の理由(相対的貧困層別/親構成別)

	n (人)	子どもが 希望する から	子どもの 学力から	一般的な 進路だと	家庭に 経済的な 余裕が ないから	他の 家族の 理解が	その他	特に 理由は ない	無 回答	回 答 計
〔相対的貧困層〕										
相対的貧困層	437	46.9	29.5	22.4	27.7	-	7.8	4.1	0.2	138.7
相対的貧困でない層	2649	55.0	33.7	23.9	9.5	0.3	9.2	3.6	0.2	135.4
〔親構成〕										
ふたり親世帯(実父と実母)	2569	54.7	33.5	24.5	9.5	0.4	8.9	3.7	0.1	135.2
ふたり親世帯(それ以外)	75	53.3	38.7	18.7	13.3	-	12.0	4.0	-	140.0
ひとり親世帯	423	46.8	31.4	19.9	26.0	-	9.2	4.5	0.5	138.3

相対的貧困層別にみると、「家庭に経済的な余裕がないから」は相対的貧困層(27.7%)で2割台後半に達しており、相対的貧困でない層(9.5%)よりも18.2ポイント上回っている。

親構成別にみると、「家庭に経済的な余裕がないから」はふたり親世帯(実父と実母)(9.5%)では1割弱にとどまっているが、ひとり親世帯(26.0%)は2割台後半となっている。

表 -2-6 子の現実的な学歴の理由（理想的・現実的な学歴別）

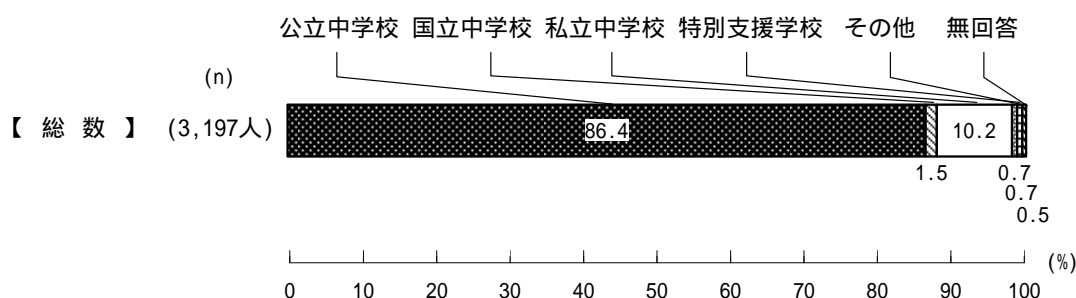
	n（人）	子どもがそう希望しているから	子どもの学力から考えて	一般的な進路だと思うから	家庭に経済的な余裕がないから	他の家族の理解が得られないから	その他	特に理由はない	無回答	回答計
〔理想的な学歴 - 現実的な学歴〕 （差がある・差がないそれぞれ 回答数上位4つの組合せ）										
専門学校 - 高等学校	100	35.0	50.0	11.0	36.0	1.0	4.0	4.0	1.0	142.0
大学 - 高等学校	128	37.5	51.6	5.5	32.8	0.8	6.3	3.9	-	138.3
大学 - 専門学校	117	30.8	61.5	4.3	25.6	1.7	8.5	0.9	-	133.3
大学 - 高専・短大	91	31.9	61.5	11.0	26.4	1.1	4.4	3.3	-	139.6
高等学校 - 高等学校	389	43.7	41.1	27.5	35.0	0.5	5.4	2.1	-	155.3
専門学校 - 専門学校	182	58.8	26.4	13.7	14.3	-	11.5	0.5	0.5	125.8
高専・短大 - 高専・短大	114	68.4	28.9	18.4	10.5	-	8.8	2.6	-	137.7
大学 - 大学	1408	65.7	27.6	34.8	0.7	0.1	7.1	1.8	0.1	137.9

学歴に関する理想（問9）と現実（問10）別にみると、現実のほうが低い学校種を回答した、理想と現実で差がある保護者では、「子どもの学力から考えて」を半数以上が回答しており、目立って多くなっている。また、「家庭に経済的な余裕がないから」も2割半ばから3割半ばが回答している。一方で、「子どもがそう希望しているから」は約3割から3割台後半と少なくなっている。

理想と現実で差がない学校種を回答した保護者のうち、高等学校を回答した保護者では、「子どもがそう希望しているから」(43.7%)が最も多くあげられているが4割半ばにとどまり、4割台前半が「子どもの学力から考えて」(41.1%)、3割半ばが「家庭に経済的な余裕がないから」(35.0%)を回答し、差がない組合せの他の層より多くなっている。また、高専・短大、大学の学校種を回答した保護者では、「子どもがそう希望しているから」は6割半ば以上が回答し、顕著に多くなっている。また、大学と回答した保護者では「一般的な進路だと思うから」(34.8%)も3割半ばが回答している。

17 子が現在通っている学校

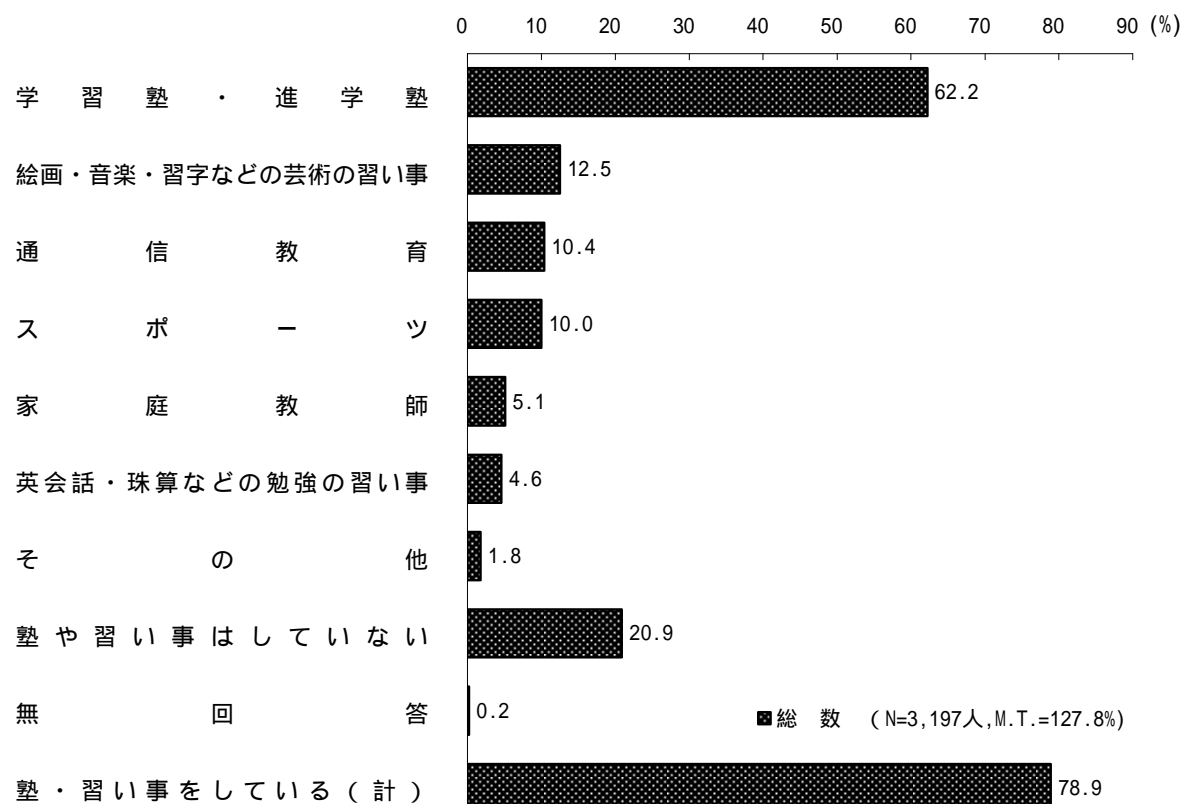
問 12 お子さんが現在通っている学校は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号に をつけてください。ここでの「中学校」には、「中等教育学校」を含みます。(は1つ)



子が現在通っている学校について聞いたところ、「公立中学校」が 86.4%、「私立中学校」が 10.2%、「国立中学校」が 1.5%となっている。

18 子が塾や習い事をしているか

問 13 お子さんは、現在、塾に行ったり、習い事をしたりしていますか。ここでの「塾」「習い事」には、費用がかからないサークル活動等は含みません。あてはまる番号すべてにをつけてください。(はいいくつでも)



子が塾や習い事をしているかについて聞いたところ、「学習塾・進学塾」が 62.2%と最も多く、「絵画・音楽・習字などの芸術の習い事」が 12.5%、「通信教育」が 10.4%の順となっている。一方で、「塾や習い事はしていない」は 20.9%となっている。

表 -2-7 子が塾や習い事をしているか（相対的貧困層別 / 親構成別）

	n (人)	学習塾・進学塾	絵画・音楽・習字などの 芸術の習い事	通信教育	スポーツ	家庭教師	英会話・珠算などの 勉強の習い事	その他	塾や習い事はしていない	無回答	塾・習い事をしていない (計)	回答計
〔相対的貧困層〕												
相対的貧困層	437	44.6	6.4	5.0	7.1	4.8	2.1	1.6	41.0	-	59.0	112.6
相対的貧困でない層	2649	65.1	13.8	11.2	10.7	5.2	5.1	1.8	17.5	0.1	82.4	130.5
〔親構成〕												
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	65.0	13.5	11.8	10.7	4.7	4.9	1.8	17.7	0.1	82.2	130.2
ふたり親世帯（それ以外）	75	50.7	2.7	1.3	1.3	8.0	4.0	2.7	38.7	-	61.3	109.3
ひとり親世帯	423	51.5	8.5	4.7	7.8	4.5	3.3	2.6	35.0	-	65.0	118.0

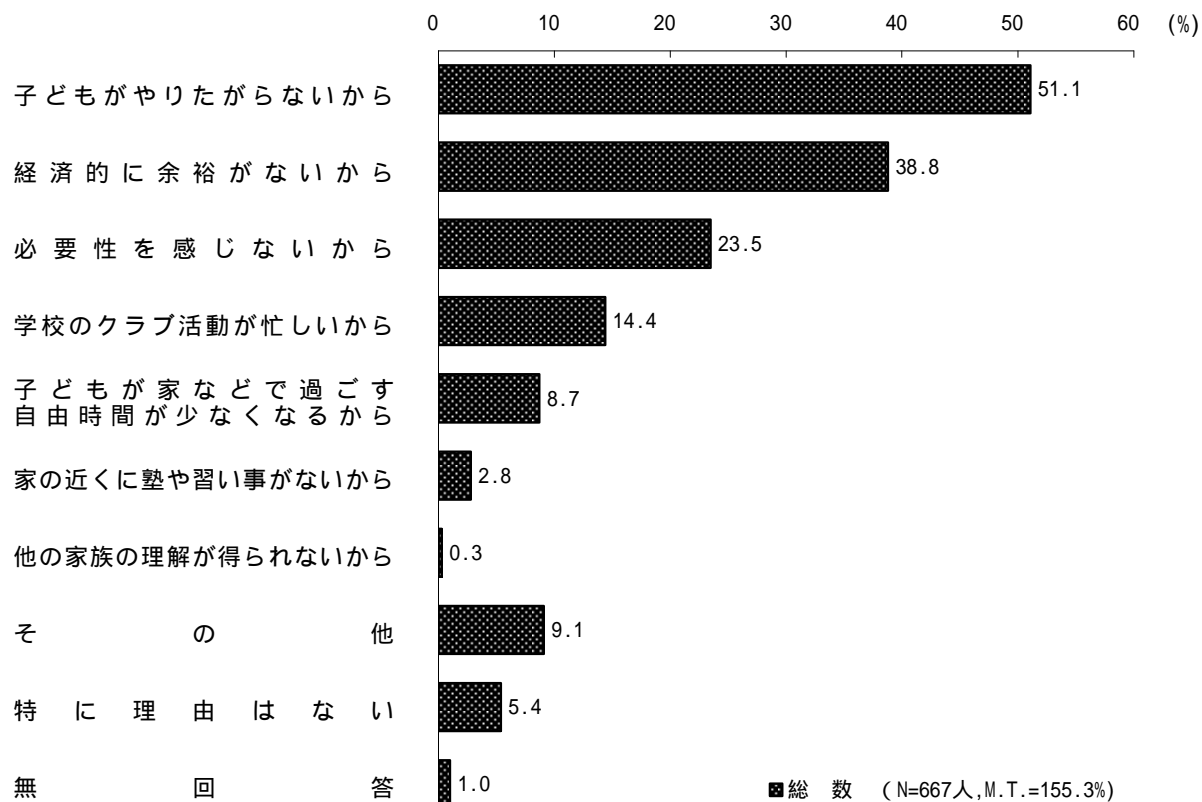
相対的貧困層別にみると、「学習塾・進学塾」は相対的貧困層（44.6%）は4割半ばであるが、相対的貧困でない層（65.1%）は6割半ばに達している。一方で、「塾や習い事はしていない」は相対的貧困層（41.0%）は約4割となっているが、相対的貧困でない層（17.5%）は1割台後半となっている。

親構成別にみると、「学習塾・進学塾」はふたり親世帯（実父と実母）（65.0%）は6割半ばとなっており、ふたり親世帯（それ以外）（50.7%）、ひとり親世帯（51.5%）よりもそれぞれ14.3ポイント、13.5ポイント上回っている。一方で、「塾や習い事はしていない」はふたり親世帯（実父と実母）（17.7%）は1割台後半にとどまっているが、ふたり親世帯（それ以外）（38.7%）、ひとり親世帯（35.0%）はそれぞれ3割台後半、3割半ばに達している。

19 子が塾や習い事をしていない理由

【問13で「8 塾や習い事はしていない」と答えた方にお聞きします。】

問14 お子さんが塾や習い事をしていない理由は何ですか。あてはまる番号すべてにをつけてください。(はいいくつでも)



問13で「塾や習い事はしていない」と回答した保護者に子が塾や習い事をしていない理由を聞いたところ、「子どもがやりたがらないから」が51.1%と最も多く、「経済的に余裕がないから」が38.8%、「必要性を感じないから」が23.5%の順となっている。一方で、「特に理由はない」は5.4%となっている。

表 -2-8 子が塾や習い事をしていない理由（相対的貧困層別／親構成別）

	n(人)	子どもがやれたがらないから	経済的に余裕がないから	必要性を感じないから	学校のクラブ活動が忙しいから	子どもが家などで過ごす自由時間が少なくなるから	家の近くに塾や習い事がないから	他の家族の理解が得られないから	その他	特に理由はない	無回答	回答計
〔相対的貧困層〕												
相対的貧困層	179	48.6	54.7	13.4	8.4	8.9	3.9	1.1	5.6	3.4	2.8	150.8
相対的貧困でない層	464	52.4	33.0	27.4	16.8	8.6	2.6	-	10.6	5.4	0.2	156.9
〔親構成〕												
ふたり親世帯（実父と実母）	454	50.4	31.9	26.4	17.6	8.6	2.9	0.2	10.8	5.3	0.9	155.1
ふたり親世帯（それ以外）	29	51.7	55.2	6.9	10.3	6.9	3.4	-	6.9	-	-	141.4
ひとり親世帯	148	54.7	59.5	21.6	4.7	8.8	2.7	0.7	6.8	2.7	1.4	163.5

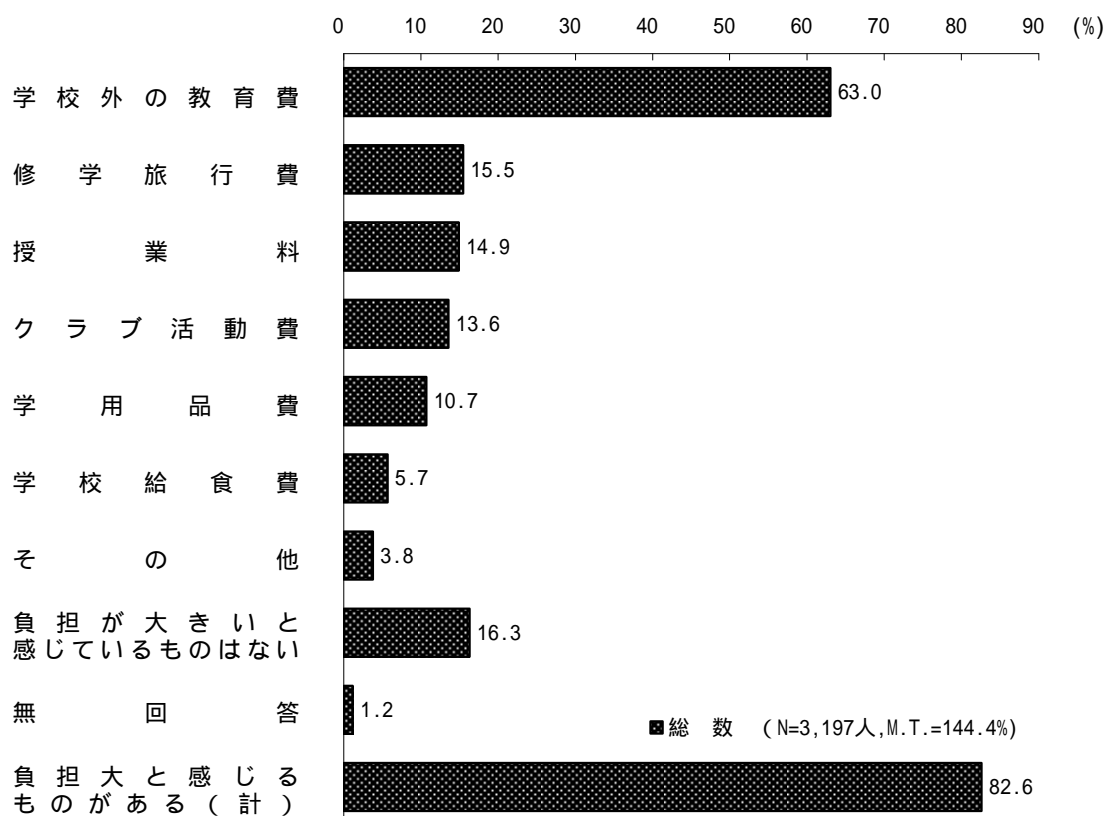
相対的貧困層別にみると、「経済的に余裕がないから」は相対的貧困層（54.7%）が5割半ばに達しており、相対的貧困でない層（33.0%）よりも21.7ポイント上回っている。一方で、「必要性を感じないから」は相対的貧困層（13.4%）は1割台前半にとどまっているが、相対的貧困でない層（27.4%）は2割台後半に達している。

親構成別にみると、「経済的に余裕がないから」はふたり親世帯（実父と実母）（31.9%）は3割台前半にとどまっているが、ひとり親世帯（59.5%）では約6割に達しており、27.6ポイント上回っている。

20 教育費で負担が大きいと感じるもの

【すべての方にお聞きします。】

問 15 お子さんの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものはありますか。あてはまる番号すべてに をつけてください。(はいいくつでも)



子の教育にかかる経費について、負担が大きいと感じるものを聞いたところ、「学校外の教育費」が63.0%と最も多く、「修学旅行費」が15.5%、「授業料」が14.9%、「クラブ活動費」が13.6%の順となっている。一方で、「負担が大きいと感じるものはない」は16.3%となっている。

表 -2-9 教育費で負担が大きいと感じるもの(相対的貧困層別)

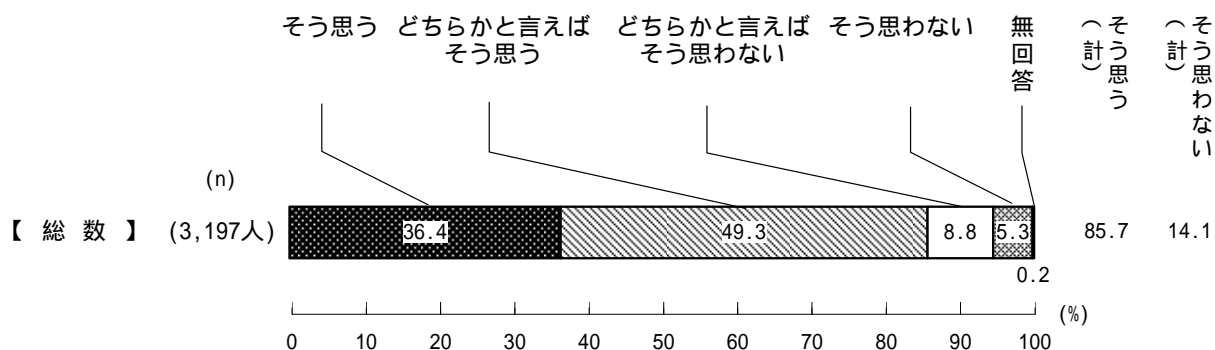
	n(人)	学校外の教育費	修学旅行費	授業料	クラブ活動費	学用品費	学校給食費	その他	て負担が大きいと感じ	無回答	が負担大と感じるもの(計)	回答計
〔相対的貧困層〕												
相対的貧困層	437	52.6	27.7	21.5	21.5	22.7	12.6	5.7	14.4	1.8	83.8	180.5
相対的貧困でない層	2649	64.7	13.5	13.4	12.2	8.7	4.5	3.5	16.8	0.9	82.3	138.2

相対的貧困層別にみると、「修学旅行費」は相対的貧困層(27.7%)が2割台後半に達しており、相対的貧困ではない層(13.5%)より14.2ポイント上回っている。また、「授業料」、「クラブ活動費」、「学用品費」、「学校給食費」のいずれも、相対的貧困層(順に、21.5%、21.5%、22.7%、12.6%)が相対的貧困でない層(順に、13.4%、12.2%、8.7%、4.5%)よりも1割前後多くなっている。

21 意見についての考え（学歴が低いと将来希望する職業につけない）

問 16 次のような意見について、あなたはどのように考えますか。AからCのそれぞれについて、1から4のうちあなたの考えに近い番号に をつけてください。(はそれぞれ1つずつ)

A 学歴が低いと将来希望する職業につけない

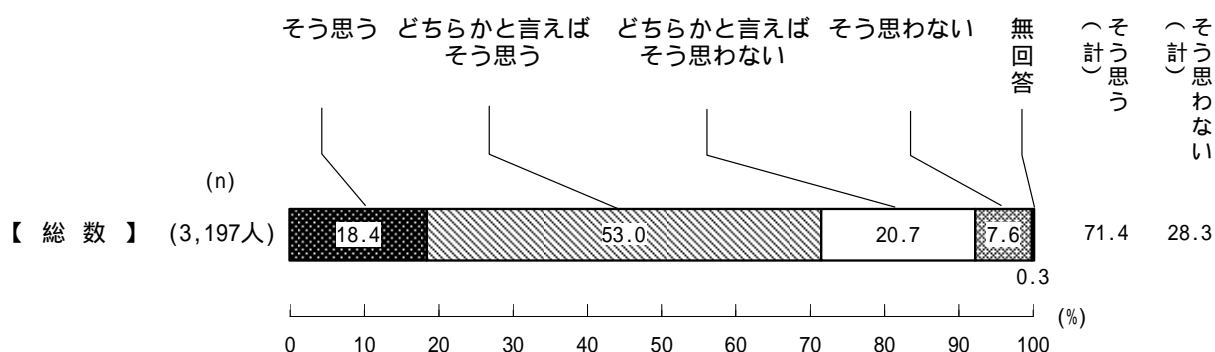


学歴が低いと将来希望する職業につけないと思うか聞いたところ、「どちらかと言えばそう思う」が49.3%、「そう思う」が36.4%となっており、『そう思う（「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」）』は8割半ば（85.7%）となっている。

22 意見についての考え（他のことを我慢しても子どもの教育にお金をかけたほうがよい）

問 16 次のような意見について、あなたはどのように考えますか。AからCのそれぞれについて、1から4のうちあなたの考えに近い番号に をつけてください。(はそれぞれ1つずつ)

B 他のことを我慢しても子どもの教育にお金をかけたほうがよい

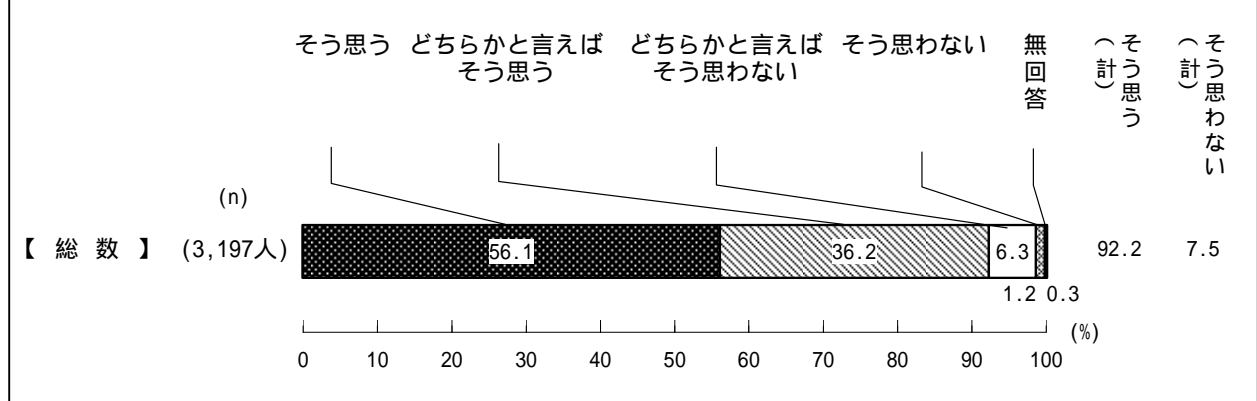


他のことを我慢しても子供の教育にお金をかけたほうがよいと思うか聞いたところ、「どちらかと言えばそう思う」が53.0%、「どちらかと言えばそう思わない」が20.7%となっており、『そう思う（「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」）』は7割強（71.4%）となっている。

23 意見についての考え（勉強することでいろいろな考え方を身につけることができる）

問 16 次のような意見について、あなたはどのように考えますか。AからCのそれぞれについて、1から4のうちあなたの考えに近い番号に をつけてください。（ はそれぞれ1つずつ）

C 勉強することでいろいろな考え方を身につけることができる



勉強することでいろいろな考え方を身につけることができると思うか聞いたところ、「そう思う」が56.1%、「どちらかと言えばそう思う」が36.2%となっており、『そう思う（「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」）』は9割台前半（92.2%）となっている。

表 -2-10 意見についての考え（勉強することでいろいろな考え方を身につけることができる）
（相対的貧困層別）

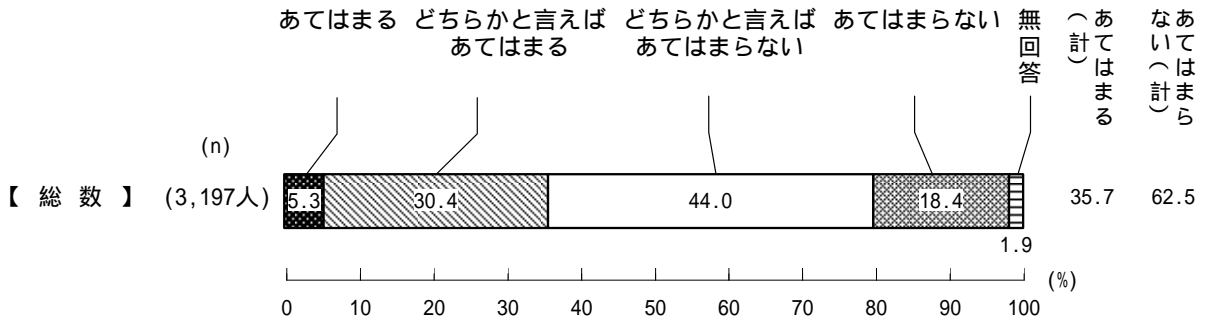
	n (人)	そう 思う	えど ばち そら うか う言	なえど いはち ら うか 思 わ言	そう 思 わ な い	無 回 答	(計) そう 思 う	(計) そう 思 わ な い
〔相対的貧困層〕								
相対的貧困層	437	45.3	41.6	11.0	1.6	0.5	87.0	12.6
相対的貧困でない層	2649	58.1	35.2	5.5	1.1	0.1	93.4	6.5

相対的貧困層別にみると、「そう思う」は相対的貧困層（45.3%）では4割半ばにとどまっているが、相対的貧困でない層（58.1%）では6割弱に達している。

24 子の将来に望むこと（社会的に高い地位についてほしいか）

問17 あなたは、お子さんの将来について、どのようになってほしいと望んでいますか。AからFのそれぞれについて、1から4のうちあなたの考えに近い番号に をつけてください。（ はそれぞれ1つずつ）

A 社会的に高い地位についてほしい

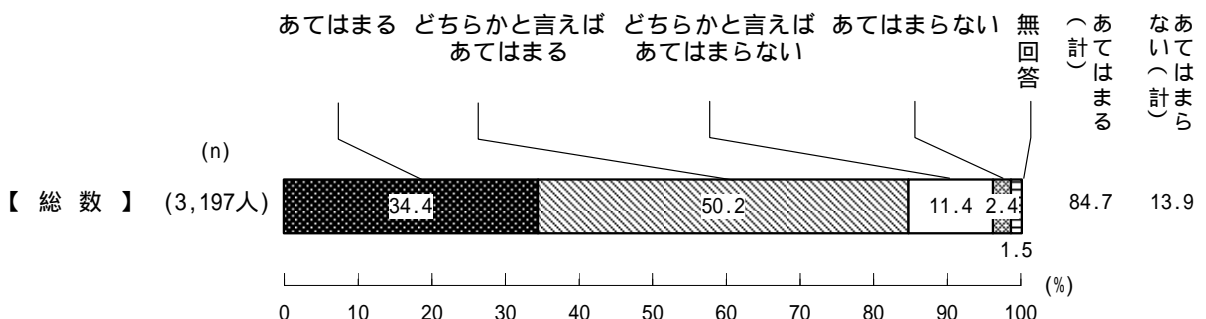


子の将来に望むことについて、社会的に高い地位についてほしいかどうか聞いたところ、「どちらかといえばあてはまらない」が 44.0%、「どちらかといえばあてはまる」が 30.4%となっており、『あてはまらない(「どちらかといえばあてはまらない」+「あてはまらない」)』は6割前半(62.5%)となっている。

25 子の将来に望むこと（世の中の役に立つような仕事をしてほしいか）

問17 あなたは、お子さんの将来について、どのようになってほしいと望んでいますか。AからFのそれぞれについて、1から4のうちあなたの考えに近い番号に をつけてください。（ はそれぞれ1つずつ）

B 世の中の役に立つような仕事をしてほしい

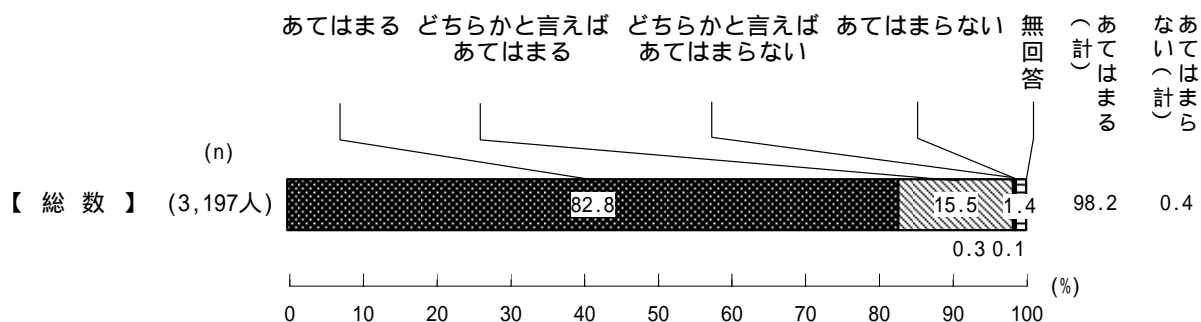


子の将来に望むことについて、世の中の役に立つような仕事をしてほしいかどうか聞いたところ、「どちらかといえばあてはまる」が 50.2%、「あてはまる」が 34.4%となっており、『あてはまる(「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」)』は8割半ば(84.7%)となっている。

26 子の将来に望むこと（やりがいを感じられる仕事をしてほしいか）

問 17 あなたは、お子さんの将来について、どのようになってほしいと望んでいますか。AからFのそれぞれについて、1から4のうちあなたの考えに近い番号に をつけてください。
（ はそれぞれ1つずつ）

C 自分でやりがいを感じられる仕事をしてほしい

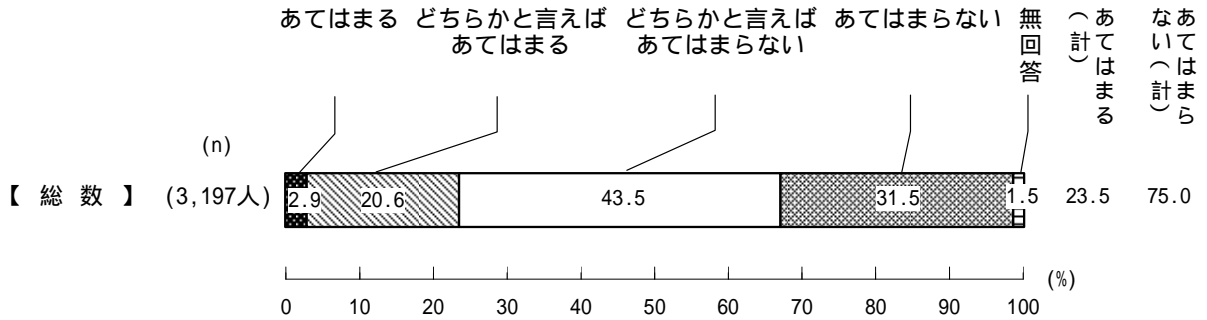


子の将来に望むことについて、自分でやりがいを感じられる仕事をしてほしいかどうか聞いたところ、「あてはまる」が82.8%、「どちらかと言えばあてはまる」が15.5%となっており、『あてはまる（「あてはまる」+「どちらかと言えばあてはまる」）』は9割台後半（98.2%）となっている。

27 子の将来に望むこと（少しでも早く働いてほしいか）

問 17 あなたは、お子さんの将来について、どのようになってほしいと望んでいますか。AからFのそれぞれについて、1から4のうちあなたの考えに近い番号に をつけてください。
（ はそれぞれ1つずつ）

D 少しでも早く働いてほしい



子の将来に望むことについて、少しでも早く働いてほしいかどうか聞いたところ、「どちらかと言えばあてはまらない」が43.5%、「あてはまらない」が31.5%となっており、『あてはまらない(「どちらかと言えばあてはまらない」+「あてはまらない」)』は7割半ば(75.0%)となっている。

表 -2-11 子の将来に望むこと（少しでも早く働いてほしいか）(相対的貧困層別/親構成別)

	n (人)	あてはまる	どちらかと言えばあてはまる	どちらかと言えばあてはまらない	あてはまらない	無回答	あてはまる (計)	あてはまらない (計)
〔相対的貧困層〕								
相対的貧困層	437	5.7	28.8	40.7	23.6	1.1	34.6	64.3
相対的貧困でない層	2649	2.5	19.0	44.8	33.4	0.3	21.5	78.2
〔親構成〕								
ふたり親世帯(実父と実母)	2569	2.4	18.9	44.9	32.6	1.2	21.3	77.5
ふたり親世帯(それ以外)	75	2.7	17.3	44.0	30.7	5.3	20.0	74.7
ひとり親世帯	423	5.2	30.0	36.9	26.2	1.7	35.2	63.1

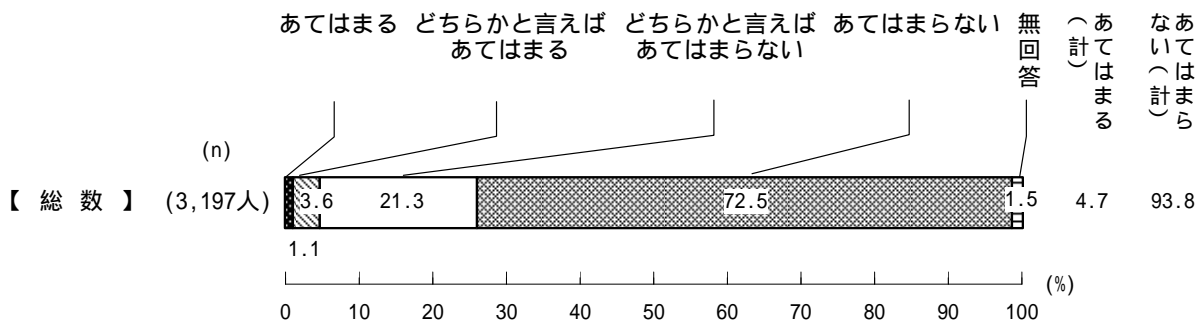
相対的貧困層別にみると、『あてはまる』は相対的貧困層(34.6%)で3割半ばとなっており、相対的貧困でない層(21.5%)より13.1ポイント上回っている。

親構成別に見ると、『あてはまる』はふたり親世帯(実父と実母)(21.3%)、ふたり親世帯(それ以外)(20.0%)では2割から2割台前半にとどまっているが、ひとり親世帯(35.2%)では3割半ばに達しており、それぞれ13.9ポイント、15.2ポイント上回っている。

28 子の将来に望むこと（家業を継いだり親と同じ職業についてほしいか）

問 17 あなたは、お子さんの将来について、どのようになってほしいと望んでいますか。AからFのそれぞれについて、1から4のうちあなたの考えに近い番号に をつけてください。
（ はそれぞれ1つずつ）

E 家業を継いだり親と同じ職業についてほしい

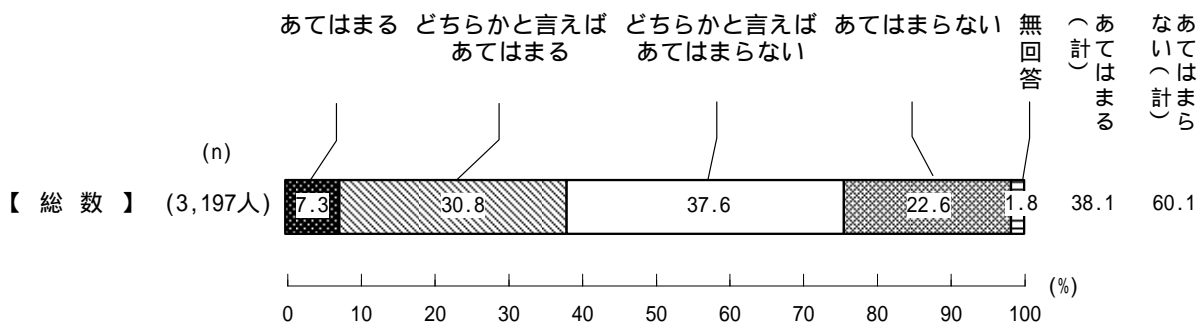


子の将来に望むことについて、家業を継いだり親と同じ職業についてほしいか聞いたところ、「あてはまらない」が72.5%、「どちらかと言えばあてはまらない」が21.3%となっており、『あてはまらない(「どちらかと言えばあてはまらない」+「あてはまらない」)』は9割前半(93.8%)となっている。

29 子の将来に望むこと（早く親元から独立してほしいか）

問 17 あなたは、お子さんの将来について、どのようになってほしいと望んでいますか。AからFのそれぞれについて、1から4のうちあなたの考えに近い番号に をつけてください。
（ はそれぞれ1つずつ）

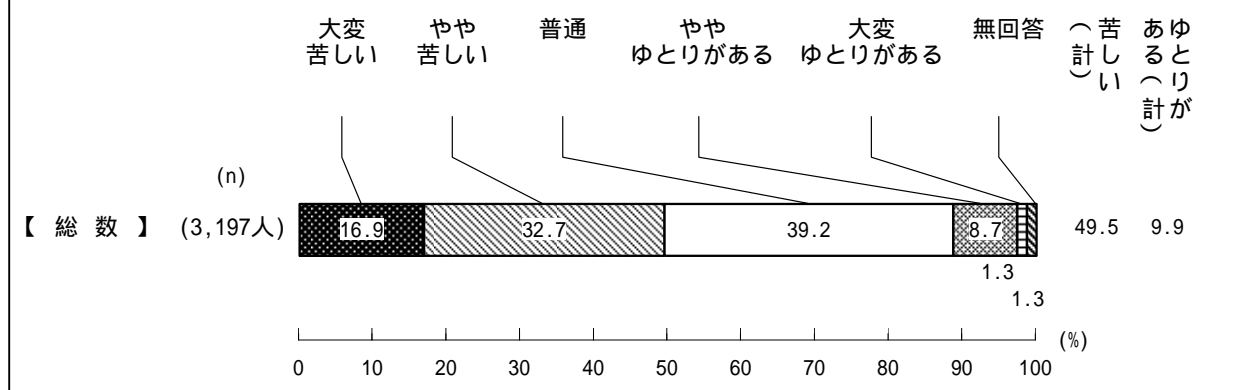
F 早く親元から独立してほしい



子の将来に望むことについて、早く親元から独立してほしいか聞いたところ、「どちらかと言えばあてはまらない」が37.6%、「どちらかと言えばあてはまる」が30.8%となっており、『あてはまらない(「どちらかと言えばあてはまらない」+「あてはまらない」)』は約6割(60.1%)となっている。

30 家庭の暮らし向き

問 22 現在のあなたのご家庭の暮らしを総合的にみて、どう感じていますか。あてはまる番号にをつけてください。(は1つ)



家庭の暮らしを総合的にみてどう感じているか聞いたところ、「普通」が 39.2%、「やや苦しい」が 32.7%となっており、『苦しい(「大変苦しい」+「やや苦しい」)』は約5割(49.5%)となっている。

表 -2-12 家庭の暮らし向き (相対的貧困層別 / 親構成別)

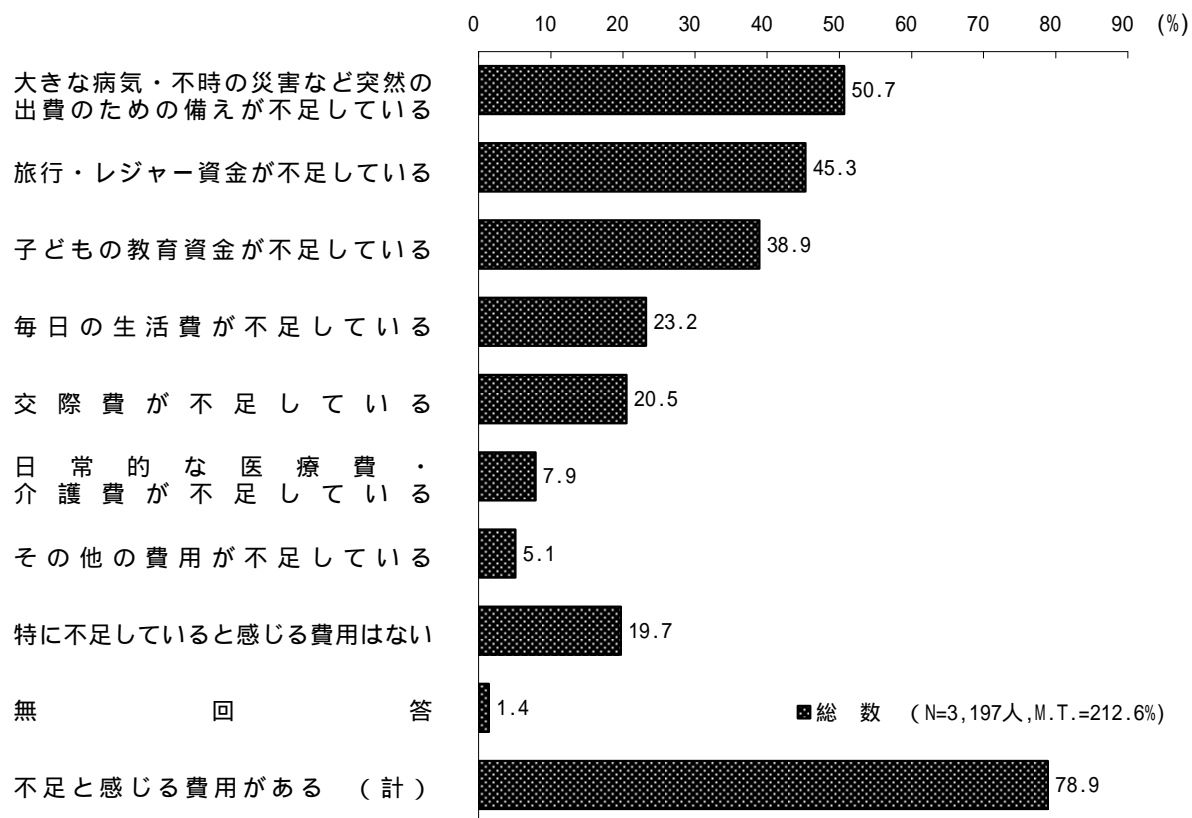
	n (人)	大変苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	苦しい (計)	ゆとりがある (計)
〔相対的貧困層〕									
相対的貧困層	437	47.4	38.0	14.0	0.5	-	0.2	85.4	0.5
相対的貧困でない層	2649	11.9	32.4	43.9	10.2	1.5	0.1	44.2	11.8
〔親構成〕									
ふたり親世帯 (実父と実母)	2569	13.9	31.6	42.1	10.2	1.4	0.9	45.5	11.6
ふたり親世帯 (それ以外)	75	21.3	41.3	30.7	2.7	-	4.0	62.7	2.7
ひとり親世帯	423	33.6	37.8	24.3	1.9	0.7	1.7	71.4	2.6

相対的貧困層別にみると、『苦しい』は相対的貧困層(85.4%)が、相対的貧困でない層(44.2%)よりも41.2ポイント上回っている。

親構成別にみると、『苦しい』はふたり親世帯(実父と実母)(45.5%)では4割半ばにとどまっているが、ひとり親世帯(71.4%)では7割前半に達し、25.9ポイント上回っている。

31 毎日の生活の上で不足している費用

問 23 あなたのご家庭では、毎日の生活の上で次のようなことがあてはまりますか。あてはまる番号すべてに をつけてください。(はいいくつでも)



毎日の生活の上で不足している費用があるか聞いたところ、「大きな病気・不時の災害など突然の出費のための備えが不足している」が 50.7%と最も多く、「旅行・レジャー資金が不足している」が 45.3%、「子どもの教育資金が不足している」が 38.9%の順となっている。一方で、「特に不足していると感じる費用はない」は約 2 割 (19.7%) となっている。

表 -2-13 毎日の生活の上で不足している費用（相対的貧困層別／親構成別）

	n (人)	備 な 大 足 え き な 病 気 の 出 費 の た め の 災 害	旅 行 ・ レ ジ ャ ー 資 金 が 不 足 し て い る	子 ど も の 教 育 資 金 が 不 足 し て い る	毎 日 の 生 活 費 が 不 足 し て い る	交 際 費 が 不 足 し て い る	日 常 的 な 医 療 費 ・ 介 護 費 が 不 足 し て い る	そ の 他 の 費 用 が 不 足 し て い る	特 に 不 足 し て い る と 感 じ る 費 用 は な い	無 回 答	不 足 と 感 じ る 費 用 が あ る (計)	回 答 計
〔相対的貧困層〕												
相対的貧困層	437	60.9	50.3	59.3	50.3	36.4	14.9	6.9	6.4	1.6	92.0	287.0
相対的貧困でない層	2649	49.2	44.8	35.5	18.7	18.1	6.5	4.7	22.0	1.1	76.8	200.6
〔親構成〕												
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	49.8	45.2	36.5	20.2	18.5	7.3	5.1	21.4	1.3	77.3	205.3
ふたり親世帯（それ以外）	75	57.3	44.0	45.3	34.7	22.7	16.0	6.7	10.7	1.3	88.0	238.7
ひとり親世帯	423	55.6	48.7	52.5	38.1	32.6	8.0	4.7	11.6	0.9	87.5	252.7

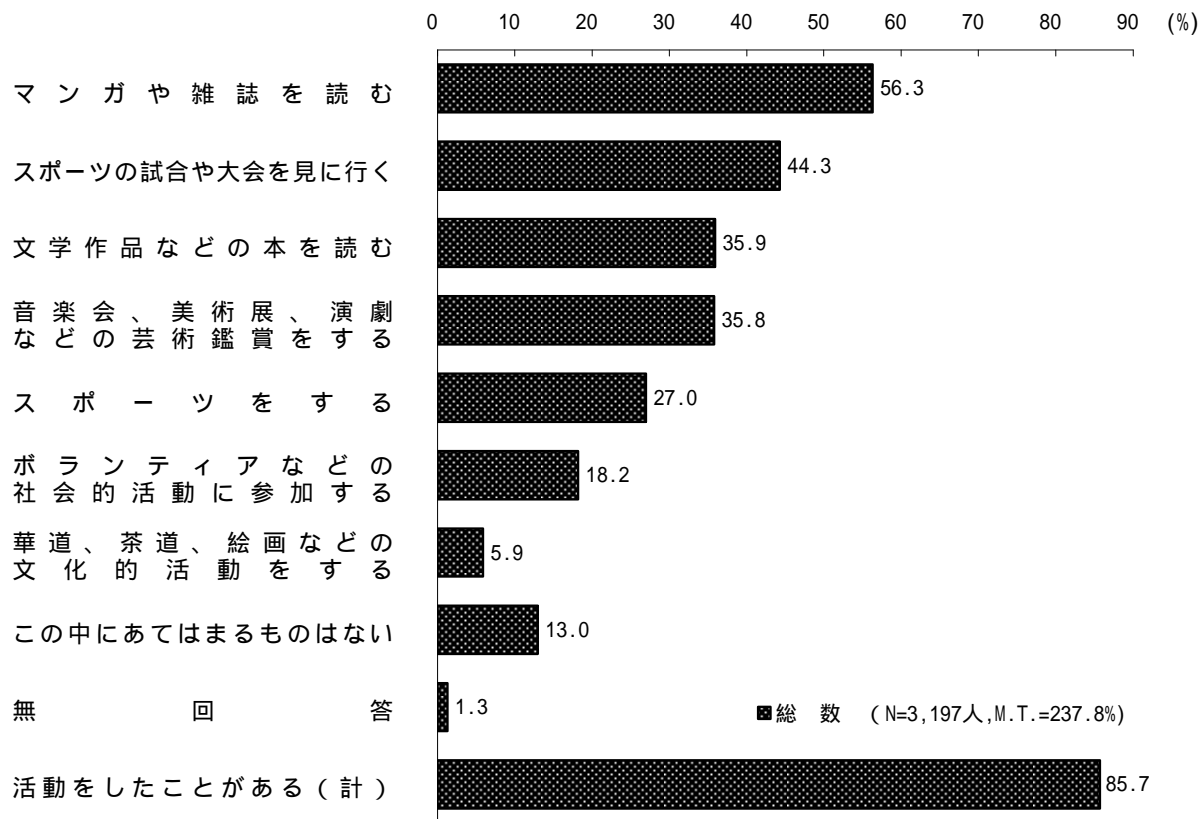
相対的貧困層別にみると、『不足と感ずる費用がある』は相対的貧困層（92.0%）が相対的貧困でない層（76.8%）よりも15.2ポイント上回っている。不足している費用についての全項目で、相対的貧困層が相対的貧困でない層を上回っているが、特に「子どもの教育資金が不足している」、「毎日の生活費が不足している」で差が大きく、相対的貧困層（それぞれ59.3%、50.3%）が相対的貧困でない層（それぞれ35.5%、18.7%）よりそれぞれ23.8ポイント、31.6ポイント上回っている。

親構成別にみると、『不足と感ずる費用がある』はふたり親世帯（実父と実母）（77.3%）では7割台後半にとどまっているが、ひとり親世帯（87.5%）では8割台後半に達し、10.2ポイント上回っている。不足している費用についてのほとんどの項目で、ふたり親世帯（実父と実母）よりもひとり親世帯が上回っているが、特に「毎日の生活費が不足している」で差が大きく、ふたり親世帯（実父と実母）（20.2%）よりもひとり親世帯（38.1%）が、17.9ポイント上回っている。

32 この一年間にした活動

あなたご自身のことについて、再びお聞きします。

問24 あなたは、この1年間に、次のような活動をしたことがありますか。あてはまる番号すべてに をつけてください。(はいいくつでも)



この一年間にした活動について聞いたところ、「マンガや雑誌を読む」が56.3%と最も多く、「スポーツの試合や大会を見に行く」が44.3%、「文学作品などの本を読む」が35.9%の順となっている。

表 -2-14 この一年間にした活動（相対的貧困層別 / 親構成別）

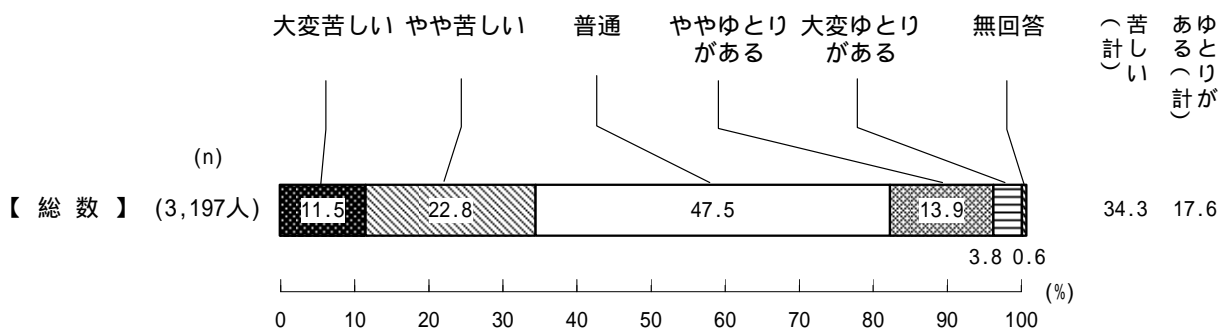
	n (人)	マンガや雑誌を読む	スポーツの試合や大会を見に行く	文学作品などの本を読む	音楽会、美術展、演劇などの芸術鑑賞をする	スポーツをする	ボランティアなどの社会的活動に参加する	華道、茶道、絵画などの文化的活動をする	この中にあてはまるものはない	無回答	(計) 活動をしたことがある	回答計
〔相対的貧困層〕												
相対的貧困層	437	41.9	30.7	15.1	16.7	13.3	8.0	2.3	29.3	1.8	68.9	159.0
相対的貧困でない層	2649	59.5	46.8	39.8	39.4	29.7	20.2	6.6	10.0	0.9	89.1	253.0
〔親構成〕												
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	58.9	47.1	39.2	38.8	29.3	20.4	6.6	10.5	1.0	88.5	251.8
ふたり親世帯（それ以外）	75	50.7	30.7	17.3	22.7	17.3	13.3	1.3	28.0	1.3	70.7	182.7
ひとり親世帯	423	47.5	30.7	23.6	24.6	16.3	7.8	3.5	23.4	1.4	75.2	179.0

相対的貧困層別にみると、『活動をしたことがある』は相対的貧困層（68.9%）よりも相対的貧困でない層（89.1%）が、20.2ポイント上回っている。活動についての全項目で相対的貧困層より相対的貧困でない層が上回っているが、特に「文学作品などの本を読む」、「音楽会、美術展、演劇などの芸術鑑賞をする」で差が大きく、相対的貧困層（順に15.1%、16.7%）よりも相対的貧困でない層（順に39.8%、39.4%）が、それぞれ24.7ポイント、22.7ポイント上回っている。

親構成別にみると、『活動をしたことがある』はふたり親世帯（実父と実母）（88.5%）では9割弱となっており、ひとり親世帯（75.2%）よりも、13.3ポイント上回っている。活動についての全項目で、ふたり親世帯（実父と実母）がひとり親世帯よりも上回っているが、特に「スポーツの試合や大会を見に行く」で差が大きく、ふたり親世帯（実父と実母）（47.1%）がひとり親世帯（30.7%）よりも、16.4ポイント上回っている。

33 中学3年生のときの家庭の暮らし向き

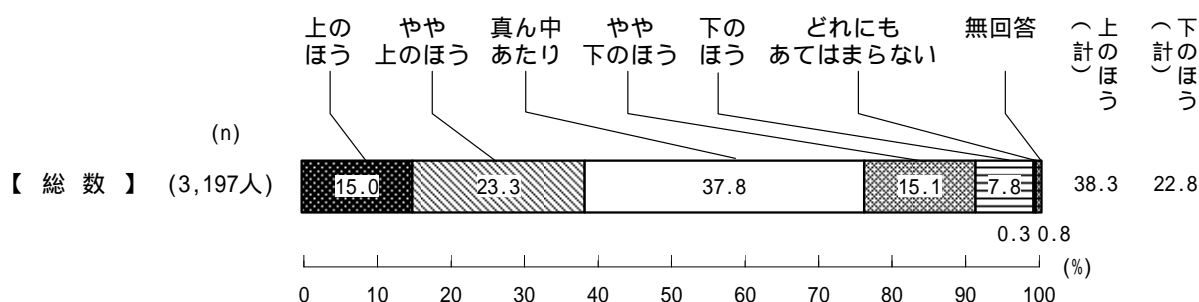
問 29 あなたが中学3年生のとき、あなたのご家庭の暮らし向きは次のどの状態に近かったでしょう。あてはまる番号にをつけてください。(は1つ)
 (中学3年生という学年区分のある学校に在籍していなかった方は、15歳のとき。問30、問31も同様です。)



中学3年生のときの家庭の暮らし向きがどのような状態だったか聞いたところ、「普通」が47.5%、「やや苦しい」が22.8%となっており、『苦しい(「大変苦しい」+「やや苦しい」)』は3割半ば(34.3%)となっている。

34 中学3年生のときの学校の成績

問30 あなたが中学3年生のとき、あなたの成績は学年の中でどのくらいだったでしょうか。
あてはまる番号に をつけてください。(は1つ)



中学3年生のときの成績が学年の中でどのくらいだったか聞いたところ、「真ん中あたり」が37.8%、「やや上のほう」が23.3%となっており、『上のほう(「上のほう」+「やや上のほう」)』は4割弱(38.3%)となっている。

表 -2-15 中学3年生のときの学校の成績(相対的貧困層別/親構成別)

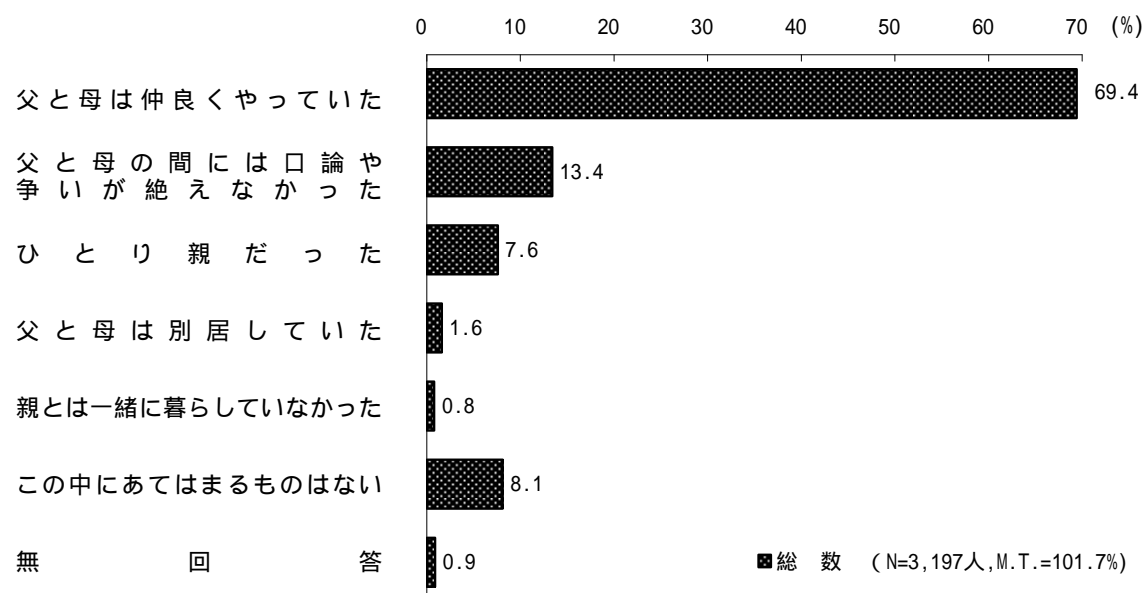
	n (人)	上のほう	やや上のほう	真ん中あたり	やや下のほう	下のほう	はどれにもあてはまらない	無回答	(計) 上のほう	(計) 下のほう
〔相対的貧困層〕										
相対的貧困層	437	6.4	14.0	35.7	25.2	16.7	0.9	1.1	20.4	41.9
相対的貧困でない層	2649	16.6	25.1	38.4	13.4	5.9	0.2	0.5	41.7	19.3
〔親構成〕										
ふたり親世帯(実父と実母)	2569	16.1	24.7	38.3	13.8	6.3	0.2	0.5	40.8	20.1
ふたり親世帯(それ以外)	75	10.7	13.3	41.3	14.7	17.3	1.3	1.3	24.0	32.0
ひとり親世帯	423	10.2	17.5	35.9	21.3	13.5	0.5	1.2	27.7	34.8

相対的貧困層別にみると、『上のほう』は相対的貧困層(20.4%)では約2割となっているが、相対的貧困でない層(41.7%)では4割前半に達している。一方で、『下のほう』は相対的貧困層(41.9%)で4割前半となっており、相対的貧困でない層(19.3%)よりも22.6ポイント上回っている。

親構成別にみると、『上のほう』はふたり親世帯(実父と実母)(40.8%)では約4割に達しているが、ふたり親世帯(それ以外)(24.0%)、ひとり親世帯(27.7%)はそれぞれ2割半ば、2割台後半にとどまっている。

35 中学3年生のときの両親の様子

問31 あなたが中学3年生のとき、あなたのご両親はどのような様子でしたか。あてはまる番号すべてにをつけてください。(はいくつでも)



中学3年生のとき両親がどのような様子だったか聞いたところ、「父と母は仲良くやっていた」が69.4%と最も多く、「父と母の間には口論や争いが絶えなかった」が13.4%、「ひとり親だった」が7.6%の順となっている。

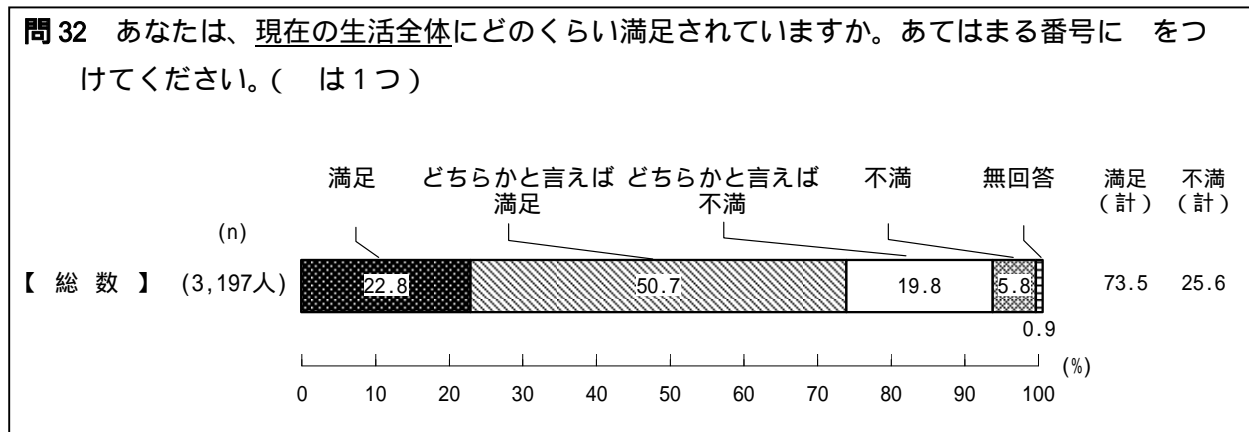
表 -2-16 中学3年生のときの両親の様子 (相対的貧困層別 / 親構成別)

	n (人)	父と母は仲良くやっていた	父と母の間には口論や争いが絶えなかった	ひとり親だった	父と母は別居していた	親とは一緒に暮らしていなかった	この中にあてはまるものはない	無回答	回答計
〔相対的貧困層〕									
相対的貧困層	437	56.1	19.0	12.8	2.1	2.1	8.9	1.1	102.1
相対的貧困でない層	2649	71.8	12.3	6.8	1.5	0.7	8.0	0.5	101.6
〔親構成〕									
ふたり親世帯 (実父と実母)	2569	72.0	12.4	6.9	1.2	0.7	7.6	0.5	101.4
ふたり親世帯 (それ以外)	75	53.3	22.7	16.0	-	1.3	8.0	1.3	102.7
ひとり親世帯	423	57.0	18.4	10.9	4.0	1.7	10.2	1.4	103.5

相対的貧困層別にみると、「父と母は仲良くやっていた」は相対的貧困層 (56.1%) では5割台後半にとどまっているが、相対的貧困でない層 (71.8%) は7割台前半となっている。

親構成別にみると、「父と母は仲良くやっていた」はふたり親世帯 (実父と実母) (72.0%) では7割台前半となっており、ひとり親世帯 (57.0%) よりも15.0ポイント上回っている。また、「ひとり親だった」はふたり親世帯 (実父と実母) では6.9%となっているが、ふたり親世帯 (それ以外) (16.0%)、ひとり親世帯 (10.9%) はそれぞれ9.1ポイント、4.0ポイント上回っている。

36 現在の生活全体の満足度



現在の生活全体にどのくらい満足しているか聞いたところ、「どちらかと言えば満足」が50.7%、「満足」が22.8%となっており、『満足(「満足」+「どちらかと言えば満足」)』は7割台前半(73.5%)となっている。

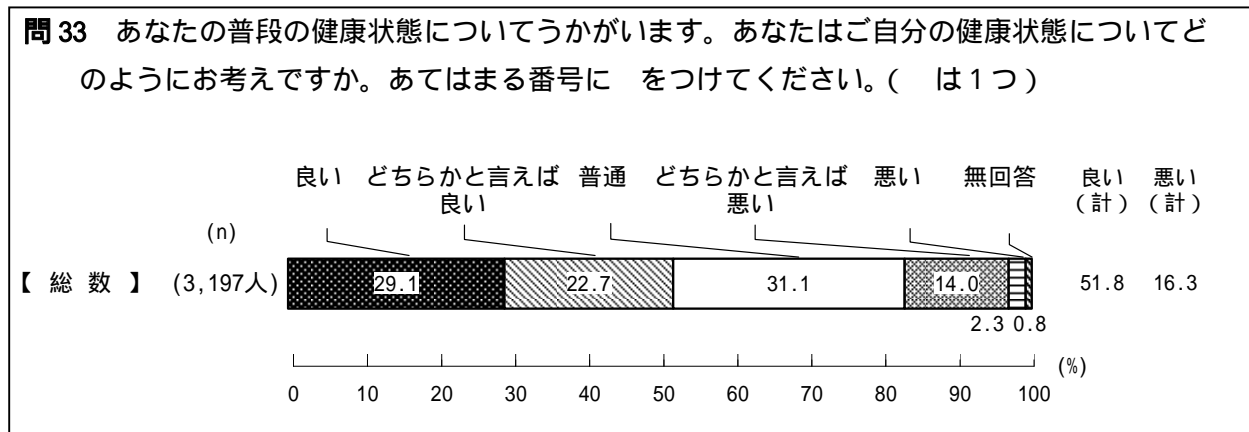
表 -2-17 現在の生活全体の満足度 (相対的貧困層別 / 親構成別)

	n (人)	満足	えど どちら かと言 満足	えど どちら かと言 不満	不満	無 回 答	満足 (計)	不満 (計)
〔相対的貧困層〕								
相対的貧困層	437	10.8	37.8	33.0	17.2	1.4	48.5	50.1
相対的貧困でない層	2649	24.7	53.3	17.7	3.9	0.5	78.0	21.6
〔親構成〕								
ふたり親世帯 (実父と実母)	2569	24.4	52.3	18.1	4.6	0.5	76.8	22.7
ふたり親世帯 (それ以外)	75	14.7	58.7	18.7	6.7	1.3	73.3	25.3
ひとり親世帯	423	13.2	43.5	29.8	12.3	1.2	56.7	42.1

相対的貧困層別にみると、『満足』は相対的貧困層(48.5%)では4割台後半にとどまっているが、相対的貧困でない層(78.0%)は8割弱に達し、29.5ポイント上回っている。一方で、『不満』は相対的貧困層では50.1%と過半数に達しており、相対的貧困でない層(21.6%)よりも28.5ポイント上回っている。

親構成別にみると、『満足』はふたり親世帯(実父と実母)(76.8%)では7割台後半に達しているが、ひとり親世帯(56.7%)では5割台後半にとどまっている。

37 普段の健康状態



普段の健康状態について聞いたところ、「普通」が31.1%、「良い」が29.1%となっており、『良い(「良い」+「どちらかと言えば良い」)』は5割強(51.8%)となっている。

表 -2-18 普段の健康状態 (相対的貧困層別 / 親構成別)

	n (人)	良い	えど ば ど ち ら か と 言 え ば 良 い	普通	えど ば ど ち ら か と 言 え ば 悪 い	悪い	無 回 答	良い (計)	悪い (計)
〔相対的貧困層〕									
相対的貧困層	437	20.1	18.1	31.4	23.6	5.5	1.4	38.2	29.1
相対的貧困でない層	2649	30.9	23.4	31.1	12.3	1.8	0.5	54.3	14.1
〔親構成〕									
ふたり親世帯(実父と実母)	2569	30.3	23.8	31.1	12.3	1.9	0.5	54.1	14.2
ふたり親世帯(それ以外)	75	21.3	28.0	25.3	17.3	6.7	1.3	49.3	24.0
ひとり親世帯	423	24.3	18.9	28.6	22.5	4.3	1.4	43.3	26.7

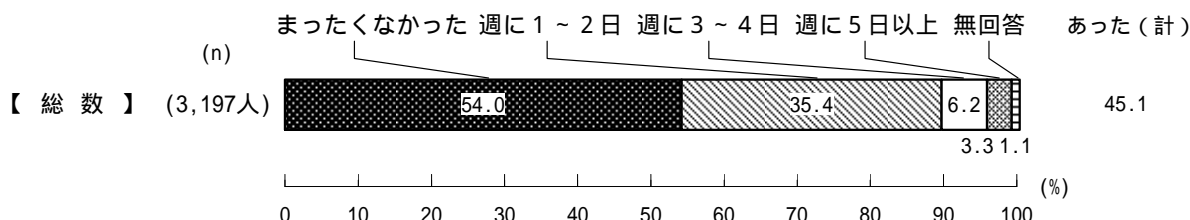
相対的貧困層別にみると、『良い』は相対的貧困層(38.2%)では4割弱となっているが、相対的貧困でない層は54.3%と16.1ポイント上回っている。一方で、『悪い』は相対的貧困層(29.1%)が相対的貧困でない層(14.1%)を15.0ポイント上回っている。

親構成別にみると、『良い』はふたり親世帯(実父と実母)(54.1%)では5割半ばとなっているが、ひとり親世帯(43.3%)では4割台前半にとどまっている。一方で、『悪い』はふたり親世帯(実父と実母)(14.2%)よりもひとり親世帯(26.7%)のほうが12.5ポイント上回っている。

38 この1週間の心の状態（悲しいと感じたこと）

問 34 この1週間のあなたの心の状態についてうかがいます。次のような気分やことがらをどのくらい経験しましたか。AからCのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号にをつけてください。（はそれぞれ1つずつ）

A 悲しいと感じたこと



この1週間に悲しいと感じたことがあるか聞いたところ、「まったくなかった」が54.0%、「週に1~2日」が35.4%、「週に3~4日」が6.2%となっており、『あった（「週に1~2日」+「週に3~4日」+「週に5日以上」）』は4割半ば（45.1%）となっている。

表 -2-19 この1週間の心の状態（悲しいと感じたこと）(相対的貧困層別 / 親構成別)

	n (人)	な ま か つ た く	週 に 1 } 2 日	週 に 3 } 4 日	週 に 5 日 以 上	無 回 答	あ つ た (計)
〔相対的貧困層〕							
相対的貧困層	437	42.8	38.4	11.2	5.9	1.6	55.6
相対的貧困でない層	2649	55.8	35.3	5.4	2.9	0.7	43.5
〔親構成〕							
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	56.1	34.6	5.5	3.1	0.7	43.3
ふたり親世帯（それ以外）	75	50.7	38.7	6.7	2.7	1.3	48.0
ひとり親世帯	423	43.0	40.4	9.2	5.4	1.9	55.1

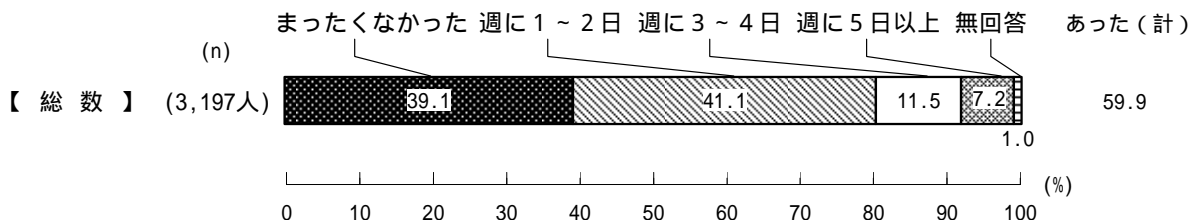
相対的貧困層別にみると、「まったくなかった」は相対的貧困層（42.8%）では4割台前半であるが、相対的貧困でない層（55.8%）は5割台半ばと13.0ポイント上回っている。

親構成別にみると、「まったくなかった」はふたり親世帯（実父と実母）（56.1%）では5割台後半に達しているが、ひとり親世帯（43.0%）では4割台前半にとどまっている。

39 この1週間の心の状態（憂うつだと感じたこと）

問 34 この1週間のあなたの心の状態についてうかがいます。次のような気分やことがらをどのくらい経験しましたか。AからCのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号にをつけてください。（ はそれぞれ1つずつ）

B ^{ゆう}憂うつだと感じたこと

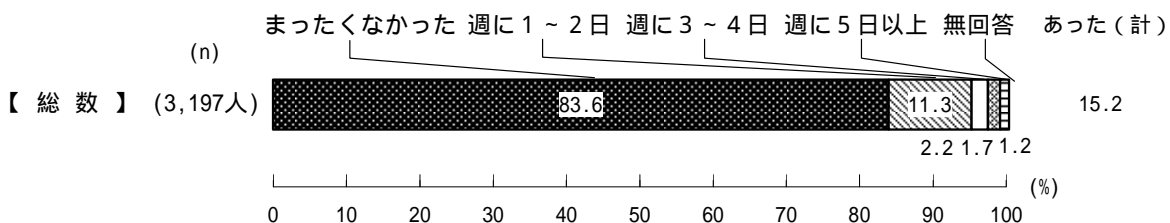


この1週間に憂うつだと感じたことがあるか聞いたところ、「週に1~2日」が41.1%、「まったくなかった」が39.1%、「週に3~4日」が11.5%となっており、『あった（「週に1~2日」+「週に3~4日」+「週に5日以上」）』は6割弱（59.9%）となっている。

40 この1週間の心の状態（一人ぼっちで寂しいと感じたこと）

問 34 この1週間のあなたの心の状態についてうかがいます。次のような気分やことがらをどのくらい経験しましたか。AからCのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号をつけてください。（はそれぞれ1つずつ）

C 一人ぼっちで寂しいと感じたこと



この1週間に一人ぼっちで寂しいと感じたことがあるか聞いたところ、「まったくなかった」が83.6%、「週に1~2日」が11.3%となっており、『あった（「週に1~2日」+「週に3~4日」+「週に5日以上」）』は1割半ば（15.2%）となっている。

表 -2-20 この1週間の心の状態（一人ぼっちで寂しいと感じたこと）(親構成別)

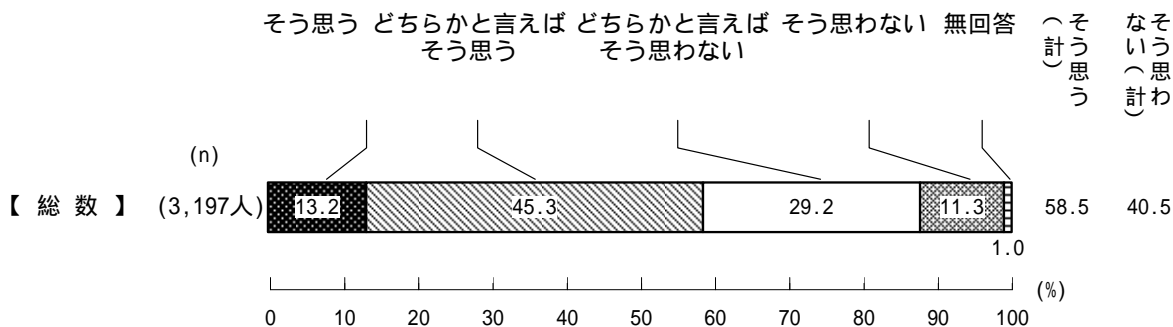
	n (人)	な ま か つ た く	週 に 1 ~ 2 日	週 に 3 ~ 4 日	週 に 5 日 以 上	無 回 答	あ つ た (計)
〔親構成〕							
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	86.6	9.8	1.6	1.4	0.7	12.7
ふたり親世帯（それ以外）	75	85.3	9.3	1.3	2.7	1.3	13.3
ひとり親世帯	423	68.8	19.9	5.9	3.8	1.7	29.6

親構成別にみると、「まったくなかった」はふたり親世帯（実父と実母）（86.6%）では8割台後半に達しているが、ひとり親世帯（68.8%）では7割弱にとどまっている。一方で、『あった』はふたり親世帯（実父と実母）（12.7%）では1割台前半にとどまっているが、ひとり親世帯（29.6%）では3割弱に達しており、16.9ポイント上回っている。

41 自分自身に満足しているか

問 35 次のことからあなた自身にどのくらいあてはまりますか。AからCのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。(はそれぞれ1つずつ)

A 私は、自分自身にだいたい満足している



自分自身にだいたい満足しているか聞いたところ、「どちらかと言えばそう思う」が45.3%、「どちらかと言えばそう思わない」が29.2%、「そう思う」が13.2%となっており、『そう思う(「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」)』は6割弱(58.5%)となっている。

表 -2-21 自分自身に満足しているか (相対的貧困層別)

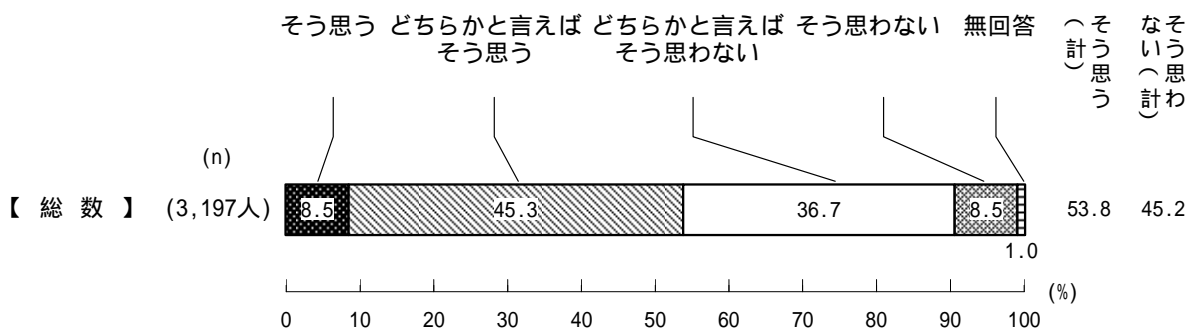
	n (人)	そう 思う	えど ばち そら うか と う 言	なえど いはち そら うか 思 と わ 言	そ う 思 わ な い	無 回 答	(計) そう 思う	(計) そう 思 わ な い
〔相対的貧困層〕								
相対的貧困層	437	10.3	32.7	34.3	20.8	1.8	43.0	55.1
相対的貧困でない層	2649	13.7	47.8	28.4	9.6	0.6	61.5	38.0

相対的貧困層別にみると、『そう思う』は相対的貧困層(43.0%)では4割台前半となっているが、相対的貧困でない層(61.5%)は6割台前半に達しており、18.5ポイント上回っている。一方で、『そう思わない』は相対的貧困層(55.1%)が相対的貧困でない層(38.0%)よりも17.1ポイント上回っている。

42 自分に長所があると感じているか

問 35 次のことがらはあなた自身にどのくらいあてはまりますか。AからCのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。(はそれぞれ1つずつ)

B 自分にはけっこう長所があると感じている

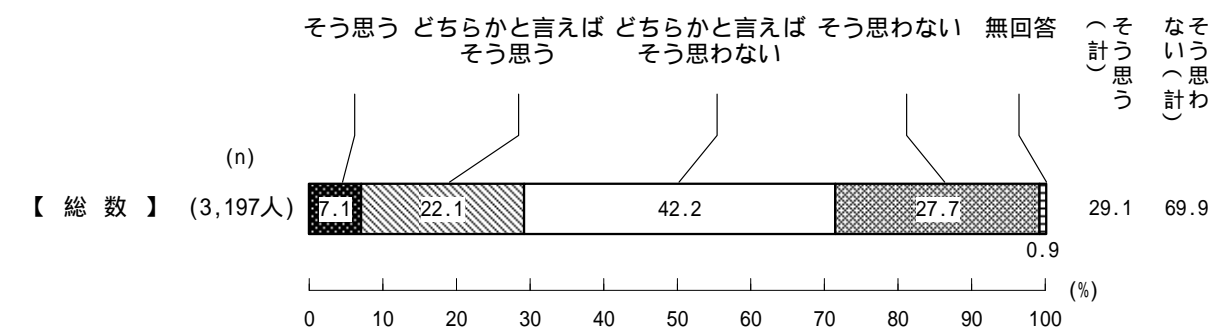


自分にはけっこう長所があると感じているか聞いたところ、「どちらかと言えばそう思う」が45.3%、「どちらかと言えばそう思わない」が36.7%となっており、『そう思う(「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」)』は5割台前半(53.8%)となっている。

43 自分は役に立たないと強く感じることもあるか

問 35 次のことがらはあなた自身にどのくらいあてはまりますか。AからCのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。(はそれぞれ1つずつ)

C 時々、自分は役に立たないと強く感じることもある



時々、自分は役に立たないと強く感じることもあるか聞いたところ、「どちらかと言えばそう思わない」が42.2%、「そう思わない」が27.7%となっており、『そう思わない(「どちらかと言えばそう思わない」+「そう思わない」)』は約7割(69.9%)となっている。

表 -2-22 自分は役に立たないと強く感じるか（相対的貧困層別）

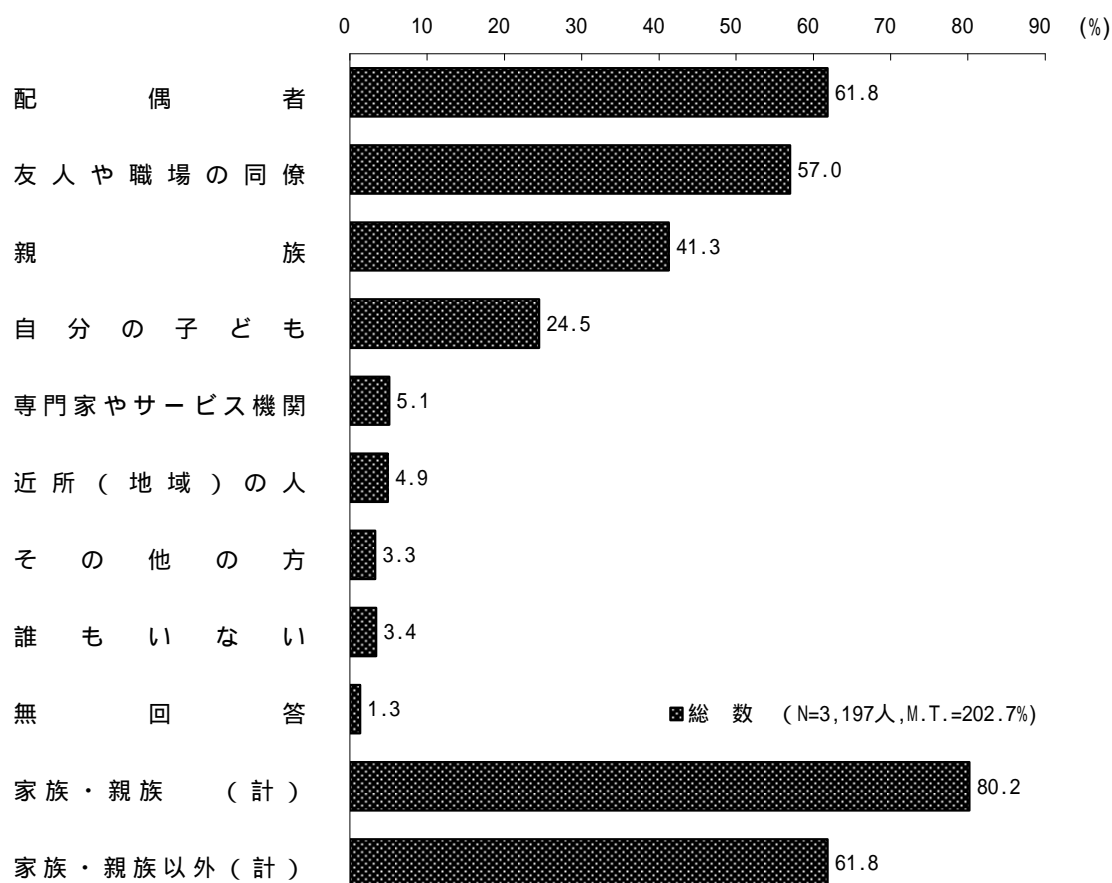
	n (人)	そう 思う	えど ちば ちそ うか と う 思 う	なえ どち はそ うか と 思 わ ない	そう 思 わ ない	無 回 答	(計) そう 思 う	(計) そう 思 わ ない
〔相対的貧困層〕								
相対的貧困層	437	14.2	27.0	35.9	21.5	1.4	41.2	57.4
相対的貧困でない層	2649	6.0	21.4	43.3	28.7	0.6	27.5	72.0

相対的貧困層別にみると、『そう思う』は相対的貧困層(41.2%)では4割台前半となっているが、相対的貧困でない層(27.5%)は2割台後半にとどまっている。

44 頼りにする人や機関（問題を抱えて落ち込んだり混乱したとき）

問 36 あなたは、次のような問題で援助や相談相手がほしいとき、どのような人や機関を頼りにしますか。AからDのそれぞれについて、1から8のうちあてはまる番号すべてにをつけてください。（はそれぞれいくつでも）

A 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したとき



問題を抱えて落ち込んだり混乱し、援助や相談相手がほしいとき、頼りにする人や機関について聞いたところ、「配偶者」が61.8%と最も多く、「友人や職場の同僚」が57.0%、「親族」が41.3%、「自分の子ども」が24.5%の順となっている。また、『家族・親族(「配偶者」+「親族」+「自分の子ども」)』は80.2%、『家族・親族以外(「友人や職場の同僚」+「専門家やサービス機関」+「近所(地域)の人」+「その他の方」)』は61.8%となっている。

表 -2-23 頼りにする人や機関（問題を抱えて落ち込んだり混乱したとき）
（相対的貧困層別／親構成別）

	n (人)	配偶者	友人や職場の同僚	親族	自分の子ども	関 専 門 家 や サ ー ビ ス 機 関	近 所 (地 域) の 人	そ の 他 の 方	誰 も い な い	無 回 答	家 族 ・ 親 族 (計)	(家 族 ・ 親 族 以 外) (計)	回 答 計
〔相対的貧困層〕													
相対的貧困層	437	30.0	51.7	38.7	27.2	5.5	2.3	5.7	8.5	1.4	67.0	58.4	170.9
相対的貧困でない層	2649	67.5	58.5	41.6	24.3	5.0	5.4	2.9	2.6	1.0	82.6	63.1	208.9
〔親構成〕													
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	72.6	57.6	41.3	24.6	5.0	5.3	2.5	2.5	0.2	85.1	62.0	211.7
ふたり親世帯（それ以外）	75	74.7	50.7	45.3	21.3	1.3	2.7	4.0	2.7	1.3	82.7	54.7	204.0
ひとり親世帯	423	1.7	61.2	44.0	26.2	6.6	3.3	7.8	8.7	0.7	57.0	68.6	160.3

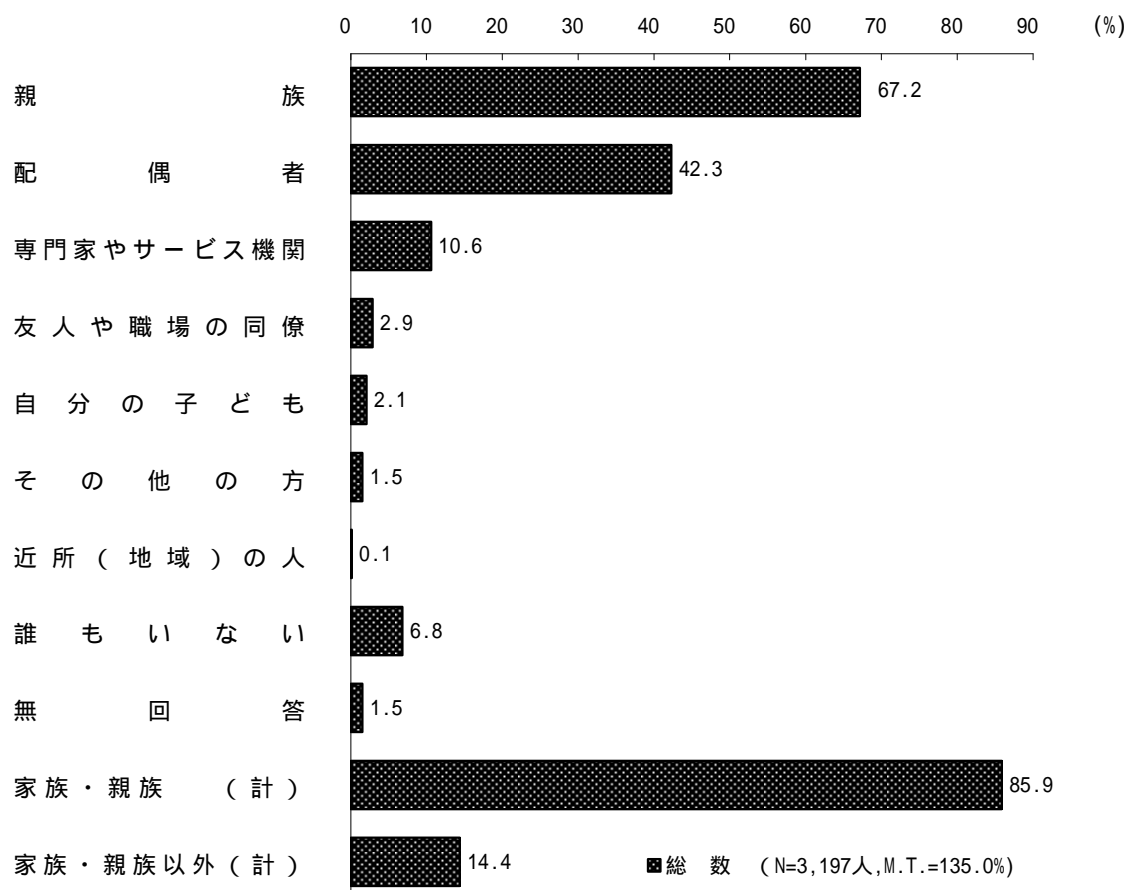
相対的貧困層別にみると、「配偶者」は相対的貧困層（30.0%）では3割にとどまっているが、相対的貧困でない層（67.5%）は6割台後半に達している。また、「家族・親族」も相対的貧困層（67.0%）より相対的貧困でない層（82.6%）で多く、15.6ポイント上回っている。

親構成別にみると、「配偶者」を除くとあまり大きな差はみられない。

45 頼りにする人や機関（急いでお金を借りなければならないとき）

問 36 あなたは、次のような問題で援助や相談相手がほしいとき、どのような人や機関を頼りにしますか。AからDのそれぞれについて、1から8のうちあてはまる番号すべてにをつけてください。（はそれぞれいくつでも）

B 急いでお金（30万円程度）を借りなければならないとき



急いでお金（30万円程度）を借りなければならないとき、援助や相談相手がほしいとき、頼りにする人や機関について聞いたところ、「親族」が67.2%と最も多く、「配偶者」が42.3%、「専門家やサービス機関」が10.6%、「友人や職場の同僚」が2.9%の順となっている。また、『家族・親族（「配偶者」＋「親族」＋「自分の子ども」）』は85.9%、『家族・親族以外（「友人や職場の同僚」＋「専門家やサービス機関」＋「近所（地域）の人」＋「その他の方」）』は14.4%となっている。

表 -2-24 頼りにする人や機関（急いでお金を借りなければならないとき）

（相対的貧困層別／親構成別）

	n（人）	親族	配偶者	専門家やサービス機関	友人や職場の同僚	自分の子ども	その他の方	近所（地域）の人	誰もいない	無回答	家族・親族（計）	家族・親族以外（計）	回答計
〔相対的貧困層〕													
相対的貧困層	437	61.8	17.4	7.8	5.0	3.0	2.5	-	18.3	1.8	71.9	14.4	117.6
相対的貧困でない層	2649	68.4	46.5	11.3	2.6	2.0	1.2	0.2	4.7	1.0	88.7	14.6	137.9
〔親構成〕													
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	68.2	50.4	10.7	2.5	2.0	0.9	0.1	4.6	0.3	90.2	13.5	139.6
ふたり親世帯（それ以外）	75	62.7	33.3	9.3	2.7	2.7	2.7	-	10.7	1.3	80.0	13.3	125.3
ひとり親世帯	423	68.8	0.5	11.8	5.9	1.7	5.0	0.2	18.2	0.9	69.7	21.7	113.0

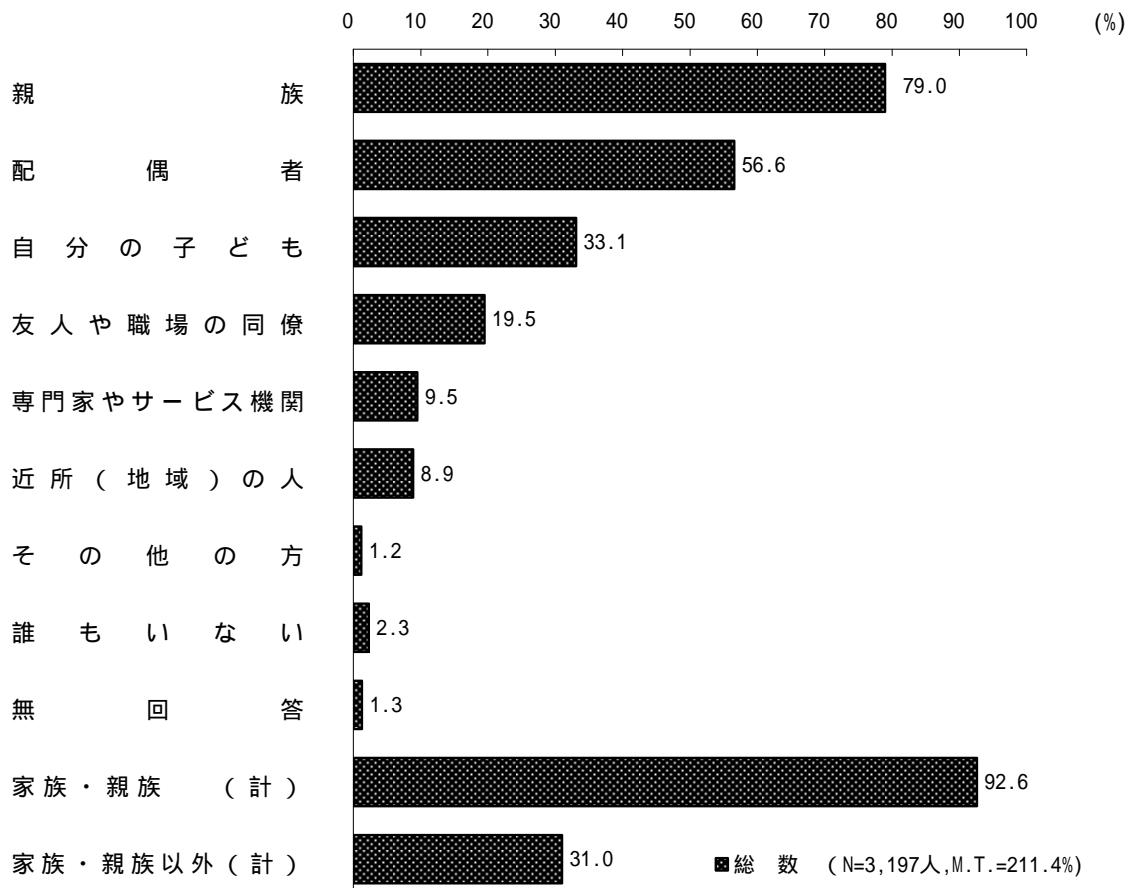
相対的貧困層別にみると、「配偶者」は相対的貧困層（17.4%）では1割台後半であるが、相対的貧困でない層（46.5%）は4割台後半に達している。また、『家族・親族』も相対的貧困層（71.9%）より相対的貧困でない層（88.7%）で多く、16.8ポイント上回っている。一方で、「誰もいない」は相対的貧困層（18.3%）が相対的貧困でない層（4.7%）よりも多く、13.6ポイント上回っている。

親構成別にみると、「誰もいない」はふたり親世帯（実父と実母）では4.6%にとどまっているが、ひとり親世帯では18.2%となっており、13.6ポイント上回っている。

46 頼りにする人や機関（あなたや家族の誰かが病気や事故で人手が必要なとき）

問 36 あなたは、次のような問題で援助や相談相手がほしいとき、どのような人や機関を頼りにしますか。AからDのそれぞれについて、1から8のうちあてはまる番号すべてにをつけてください。（はそれぞれいくつでも）

C あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき



あなたや家族の誰かが病気や事故でどうしても人手が必要となり、援助や相談相手がほしいとき、頼りにする人や機関について聞いたところ、「親族」が79.0%と最も多く、「配偶者」が56.6%、「自分の子ども」が33.1%、「友人や職場の同僚」が19.5%の順となっている。また、『家族・親族(「配偶者」+「親族」+「自分の子ども」)』は92.6%、『家族・親族以外(「友人や職場の同僚」+「専門家やサービス機関」+「近所(地域)の人」+「その他の方」)』は31.0%となっている。

表 -2-25 頼りにする人や機関（あなたや家族の誰かが病気や事故で人手が必要なとき）

（相対的貧困層別／親構成別）

	n (人)	親族	配偶者	自分の子ども	友人や職場の同僚	専門家やサービス機関	近所（地域）の人	その他の方	誰もいない	無回答	家族・親族（計）	家族・親族以外（計）	回答計
〔相対的貧困層〕													
相対的貧困層	437	71.9	27.5	29.3	18.3	8.2	5.7	3.2	6.9	1.1	84.2	28.4	172.1
相対的貧困でない層	2649	80.4	62.0	34.1	19.9	9.9	9.6	0.8	1.5	1.0	94.3	31.9	219.2
〔親構成〕													
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	80.9	66.8	35.1	19.6	10.0	9.7	0.6	1.5	0.2	95.6	31.3	224.3
ふたり親世帯（それ以外）	75	70.7	64.0	30.7	28.0	8.0	4.0	1.3	2.7	1.3	89.3	34.7	210.7
ひとり親世帯	423	76.1	1.2	26.5	20.1	8.0	6.6	4.5	7.3	0.5	82.3	32.4	150.8

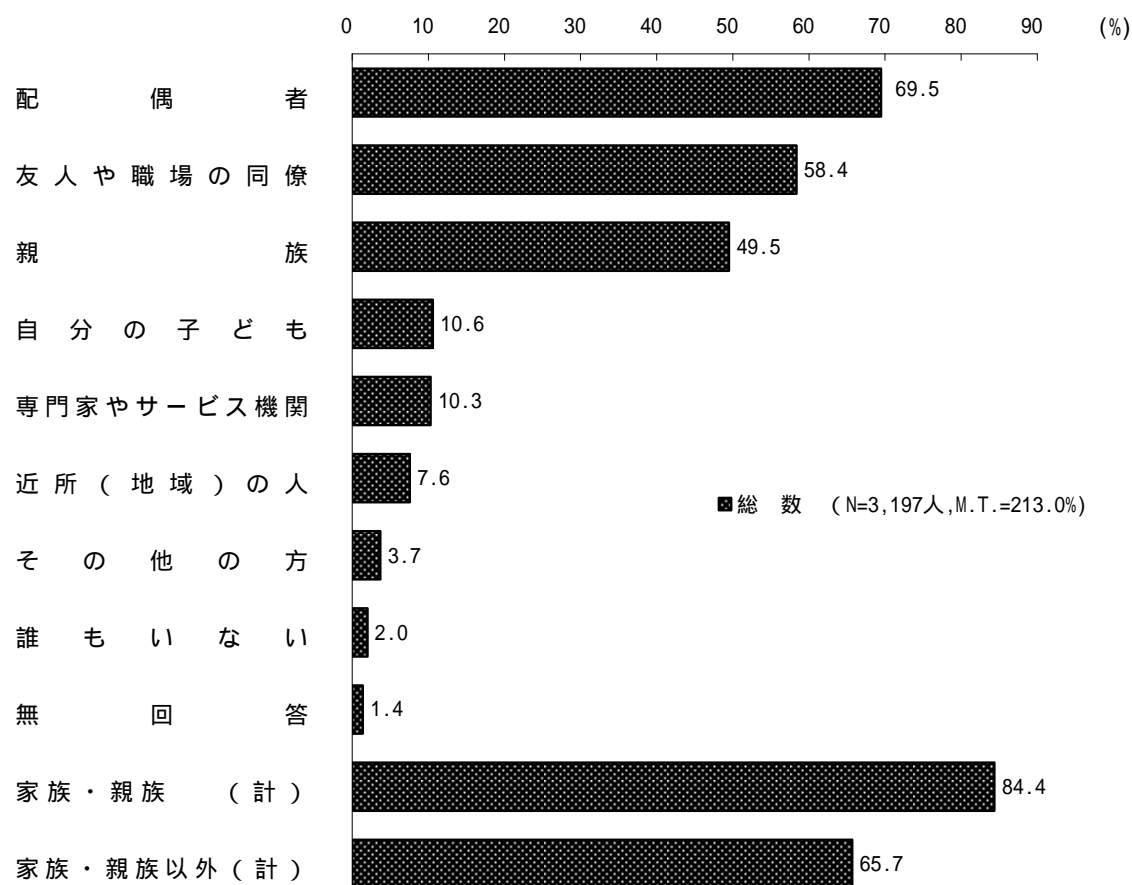
相対的貧困層別にみると、「配偶者」は相対的貧困層（27.5%）では2割台後半であるが、相対的貧困でない層（62.0%）は6割台前半に達している。また、『家族・親族』も相対的貧困層（84.2%）より相対的貧困でない層（94.3%）で多く、10.1ポイント上回っている。

親構成別にみると、『家族・親族』はふたり親世帯（実父と実母）（95.6%）は9割半ばに達しているが、ひとり親世帯（82.3%）では8割台前半にとどまっている。

47 頼りにする人や機関（子どもについての悩み事や心配事があるとき）

問 36 あなたは、次のような問題で援助や相談相手がほしいとき、どのような人や機関を頼りにしますか。AからDのそれぞれについて、1から8のうちあてはまる番号すべてにをつけてください。（はそれぞれいくつでも）

D 子どもについての悩み事や心配事があるとき



子どもについての悩み事や心配事があり、援助や相談相手がほしいとき、頼りにする人や機関について聞いたところ、「配偶者」が69.5%と最も多く、「友人や職場の同僚」が58.4%、「親族」が49.5%、「自分の子ども」が10.6%の順となっている。また、『家族・親族（「配偶者」+「親族」+「自分の子ども」）』は84.4%、『家族・親族以外（「友人や職場の同僚」+「専門家やサービス機関」+「近所（地域）の人」+「その他の方」）』は65.7%となっている。

表 -2-26 頼りにする人や機関（子どもについての悩み事や心配事があるとき）

（相対的貧困層別／親構成別）

	n (人)	配偶者	友人や職場の同僚	親族	自分の子ども	専門家やサービス機関	近所（地域）の人	その他の方	誰もいない	無回答	家族・親族（計）	家族・親族以外（計）	回答計
〔相対的貧困層〕													
相対的貧困層	437	35.2	54.5	47.6	9.6	8.9	4.6	6.9	5.3	1.4	68.9	63.6	173.9
相対的貧困でない層	2649	75.7	59.6	49.9	10.7	10.6	8.3	3.1	1.4	1.1	87.2	66.6	220.3
〔親構成〕													
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	82.0	58.7	49.2	10.6	10.7	8.1	2.8	1.4	0.3	89.8	65.6	223.9
ふたり親世帯（それ以外）	75	74.7	54.7	48.0	8.0	4.0	2.7	2.7	2.7	1.3	84.0	60.0	198.7
ひとり親世帯	423	2.1	65.0	54.1	10.9	11.1	6.4	9.0	5.4	0.7	58.6	75.4	164.8

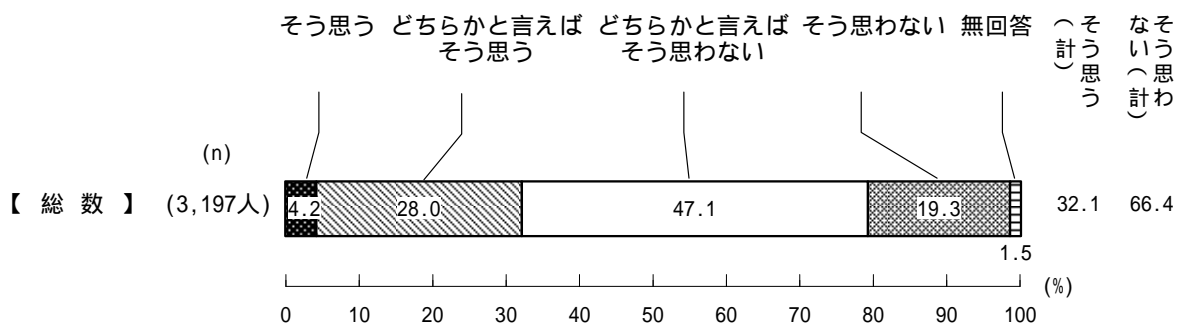
相対的貧困層別にみると、「配偶者」は相対的貧困層（35.2%）では3割半ばであるが、相対的貧困でない層（75.7%）は7割台後半に達している。また、『家族・親族』も相対的貧困層（68.9%）より相対的貧困でない層（87.2%）で多く、18.3ポイント上回っている。

親構成別にみると、「配偶者」を除くとあまり大きな差はみられない。

48 今の自分の人生を楽しむほうがよいと思うか

問37 次のような意見について、あなたはどのように考えますか。AからFのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。（ はそれぞれ1つ）

A 将来のために節約・努力するよりも、今の自分の人生を楽しむほうがよい

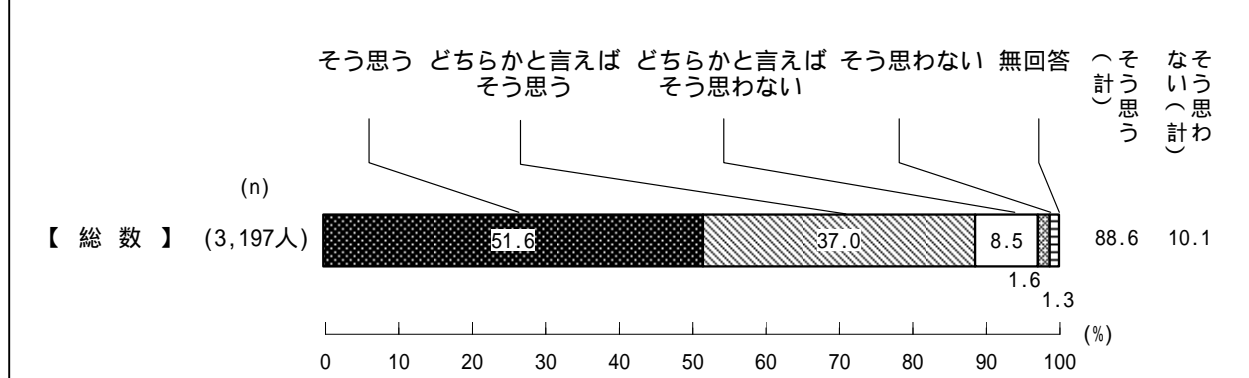


将来のために節約・努力するよりも、今の自分の人生を楽しむほうがよいとの意見について、どのように考えるか聞いたところ、「どちらかと言えばそう思わない」が47.1%、「どちらかと言えばそう思う」が28.0%となっており、『そう思わない（「どちらかと言えばそう思わない」+「そう思わない」）』は6割台後半（66.4%）となっている。

49 貧しい人と豊かな人の差が大きいと思うか

問 37 次のような意見について、あなたはどのように考えますか。AからFのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。(はそれぞれ1つ)

B 今の社会は、貧しい人と豊かな人の差が大きい



今の社会は、貧しい人と豊かな人の差が大きいとの意見について、どのように考えるか聞いたところ、「そう思う」が51.6%、「どちらかと言えばそう思う」が37.0%となっており、『そう思う(「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」)』は9割弱(88.6%)となっている。

表 -2-27 貧しい人と豊かな人の差が大きいと思うか(相対的貧困層別)

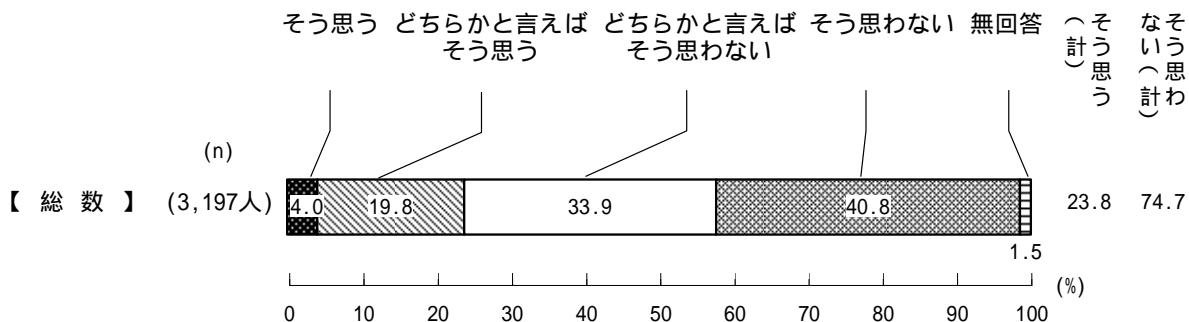
	n (人)	そう 思う	えど ばち そら うか と う 言	なえど いはち そら うか と わ 言	そう 思 わ な い	無 回 答	(計) そう 思 う	(計) そう 思 わ な い
〔相対的貧困層〕								
相対的貧困層	437	66.6	25.4	5.0	1.8	1.1	92.0	6.9
相対的貧困でない層	2649	49.5	38.8	9.2	1.5	1.0	88.3	10.7

相対的貧困層別にみると、「そう思う」は相対的貧困層(66.6%)では6割台後半に達しているが、相対的貧困でない層(49.5%)は約5割にとどまっている。

50 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきと思うか

問 37 次のような意見について、あなたはどのように考えますか。AからFのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。(はそれぞれ1つ)

C 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

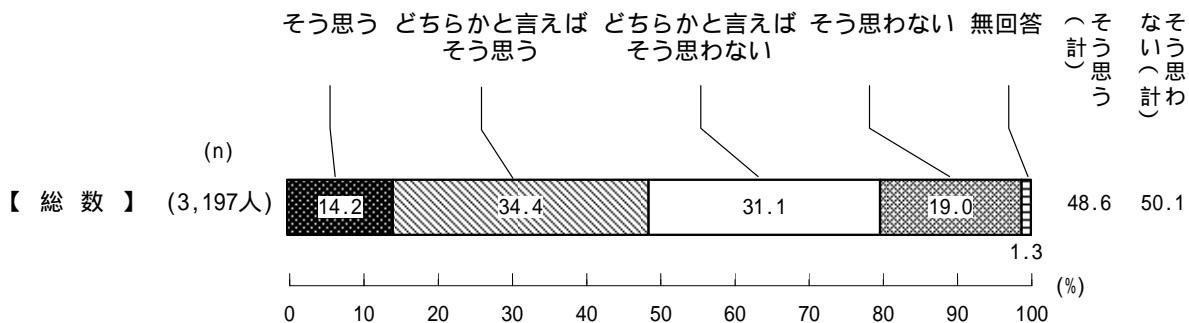


夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるとの意見について、どのように考えるか聞いたところ、「そう思わない」が40.8%、「どちらかと言えばそう思わない」が33.9%となっており、『そう思わない(「どちらかと言えばそう思わない」+「そう思わない」)』は7割半ば(74.7%)となっている。

51 十分な収入がなければ、結婚はすべきではないと思うか

問 37 次のような意見について、あなたはどのように考えますか。AからFのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。(はそれぞれ1つ)

D 十分な収入がなければ、結婚はすべきではない

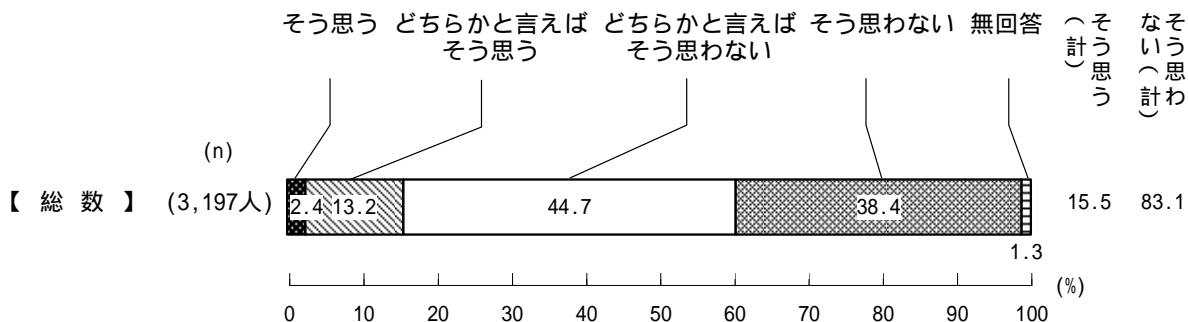


十分な収入がなければ、結婚はすべきではないとの意見について、どのように考えるか聞いたところ、「どちらかと言えばそう思う」が34.4%、「どちらかと言えばそう思わない」が31.1%となっており、『そう思わない(「どちらかと言えばそう思わない」+「そう思わない」)』は約5割(50.1%)となっている。

52 希望する仕事でなければ無理につかなくてよいと思うか

問 37 次のような意見について、あなたはどのように考えますか。AからFのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。(はそれぞれ1つ)

E 希望する仕事でなければ無理につかなくてよい

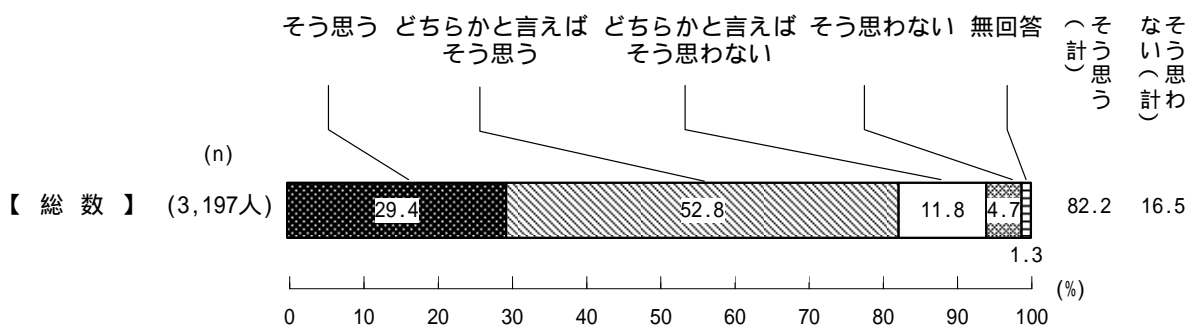


希望する仕事でなければ無理につかなくてよいとの意見について、どのように考えるか聞いたところ、「どちらかと言えばそう思わない」が44.7%、「そう思わない」が38.4%となっており、『そう思わない(「どちらかと言えばそう思わない」+「そう思わない」)』は8割台前半(83.1%)となっている。

53 努力すれば夢や希望は実現すると思うか

問 37 次のような意見について、あなたはどのように考えますか。AからFのそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に をつけてください。(はそれぞれ1つ)

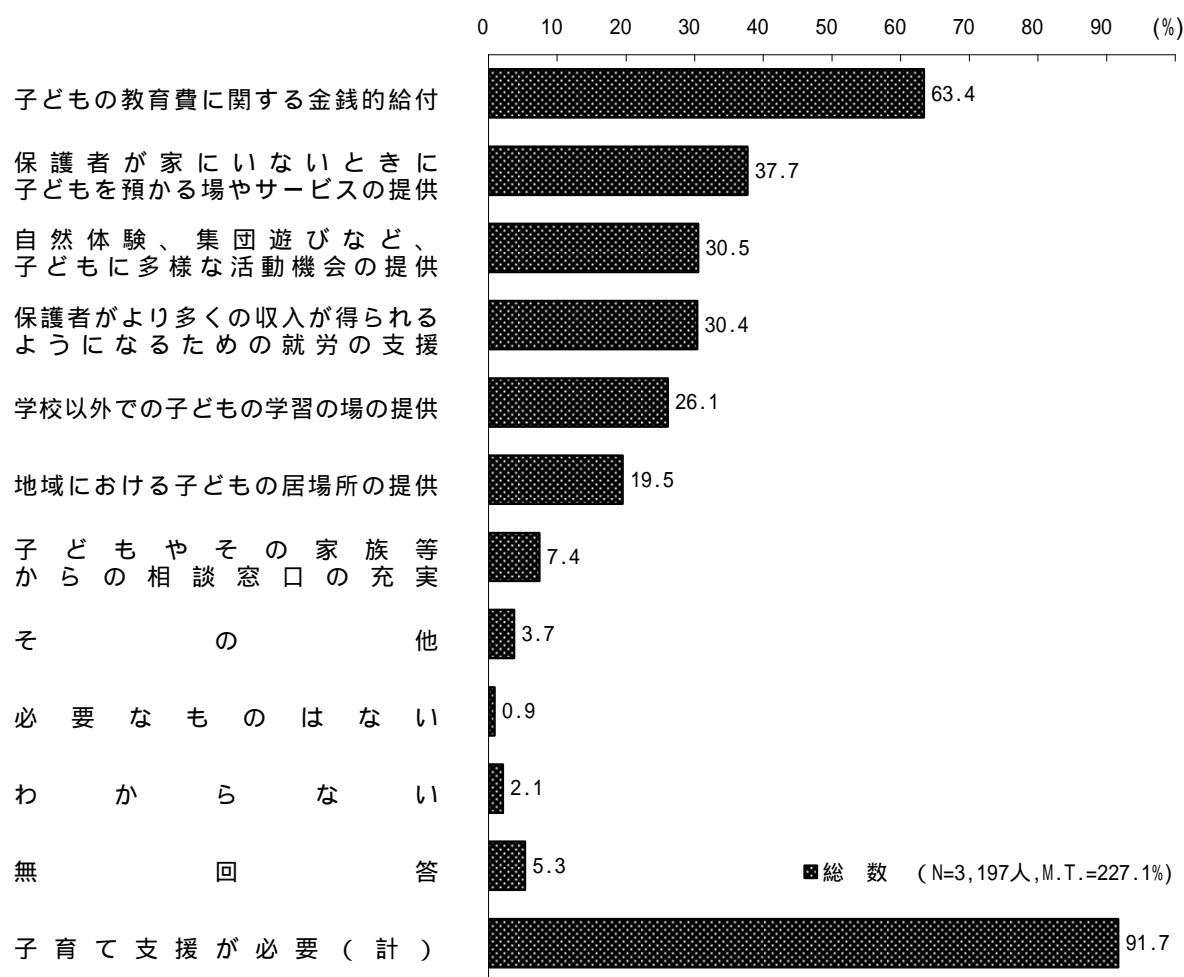
F 努力すれば夢や希望は実現する



努力すれば夢や希望は実現するとの意見について、どのように考えるか聞いたところ、「どちらかと言えばそう思う」が52.8%、「そう思う」が29.4%となっており、『そう思う(「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」)』は8割台前半(82.2%)となっている。

54 子育てに必要な支援

問 38 あなたのお子さんを育てるにあたって、どのような子育て支援が必要だ（必要だった）と思いますか。あてはまる番号3つまでをつけてください。（は3つまで）



子を育てるにあたって、どのような子育て支援が必要だ（必要だった）と思うか聞いたところ、「子どもの教育費に関する金銭的給付」が 63.4%と最も多く、「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」が 37.7%、「自然体験、集団遊びなど、子どもに多様な活動機会の提供」が 30.5%、「保護者がより多くの収入が得られるようになるための就労の支援」が 30.4%の順となっている。一方で、「必要なものはない」は 0.9%となっている。

表 -2-28 子育てに必要な支援（相対的貧困層別 / 親構成別）

	n (人)	子どもの教育費に関する金銭的給付	保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供	自然体験、集団遊びなど、子どもに多様な活動機会の提供	保護者がより多くの収入が得られるようになるための就労の支援	学校以外での子どもの学習の場の提供	地域における子どもの居場所の提供	充実に子どもやその家族等からの相談窓口の	その他	必要なものはない	わからない	無回答	子育て支援が必要（計）	回答計
〔相対的貧困層〕														
相対的貧困層	437	78.0	27.0	16.7	42.6	29.3	14.2	9.6	2.3	0.5	3.4	5.3	90.8	228.8
相対的貧困でない層	2649	61.0	39.7	33.3	28.2	25.7	20.8	7.1	4.0	1.0	1.7	5.1	92.2	227.6
〔親構成〕														
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	62.8	39.5	33.4	29.1	25.9	20.4	7.3	3.9	1.0	1.8	4.2	93.0	229.2
ふたり親世帯（それ以外）	75	74.7	48.0	18.7	41.3	26.7	12.0	6.7	5.3	-	1.3	4.0	94.7	238.7
ひとり親世帯	423	70.4	31.0	17.7	38.8	28.6	16.5	8.7	3.3	0.9	3.1	5.4	90.5	224.6

相対的貧困層別にみると、「子どもの教育費に関する金銭的給付」、「保護者がより多くの収入が得られるようになるための就労の支援」は相対的貧困層（順に 78.0%、42.6%）が相対的貧困でない層（順に 61.0%、28.2%）より多くなっており、それぞれ 17.0 ポイント、14.4 ポイント上回っている。一方で、「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」、「自然体験、集団遊びなど、子どもに多様な活動機会の提供」、「地域における子どもの居場所の提供」は相対的貧困層（順に 27.0%、16.7%、14.2%）より相対的貧困でない層（順に 39.7%、33.3%、20.8%）で多くなっており、それぞれ 12.7 ポイント、16.6 ポイント、6.6 ポイント上回っている。

親構成別にみると、「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」、「自然体験、集団遊びなど、子どもに多様な活動機会の提供」はふたり親世帯（実父と実母）（順に 39.5%、33.4%）がひとり親世帯（順に 31.0%、17.7%）よりも多くなっており、それぞれ 8.5 ポイント、15.7 ポイント上回っている。一方で、「保護者がより多くの収入が得られるようになるための就労の支援」はふたり親世帯（実父と実母）（29.1%）よりもひとり親世帯（38.8%）で多く、9.7 ポイント上回っている。

表 -2-29 子育てに必要な支援の上位の組み合わせ（相対的貧困層別）

	n (人)	のみ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
総数	3192	8.2	6.9	6.7	5.1	3.7	3.7	3.6	3.1	3.1	2.8	2.8	2.8
〔相対的貧困層〕													
相対的貧困層	437	12.4	9.4	8.5	9.4	1.1	3.9	2.5	0.9	3.9	2.7	3.0	2.5
相対的貧困層でない層	2649	7.6	6.2	6.4	4.4	4.1	3.7	3.9	3.6	2.9	2.8	2.8	2.8

	n (人)	+	+	のみ	のみ	のみ	+	+	+	+	+	+	+
総数	3192	2.7	2.1	2.1	2.1	1.8	1.8	1.8	1.5	1.4	1.3	1.3	1.1
〔相対的貧困層〕													
相対的貧困層	437	1.1	1.6	0.5	3.4	0.9	0.9	3.0	3.2	0.2	0.2	0.5	3.7
相対的貧困層でない層	2649	2.9	2.3	2.4	1.7	2.0	1.9	1.5	1.3	1.7	1.5	1.4	0.7

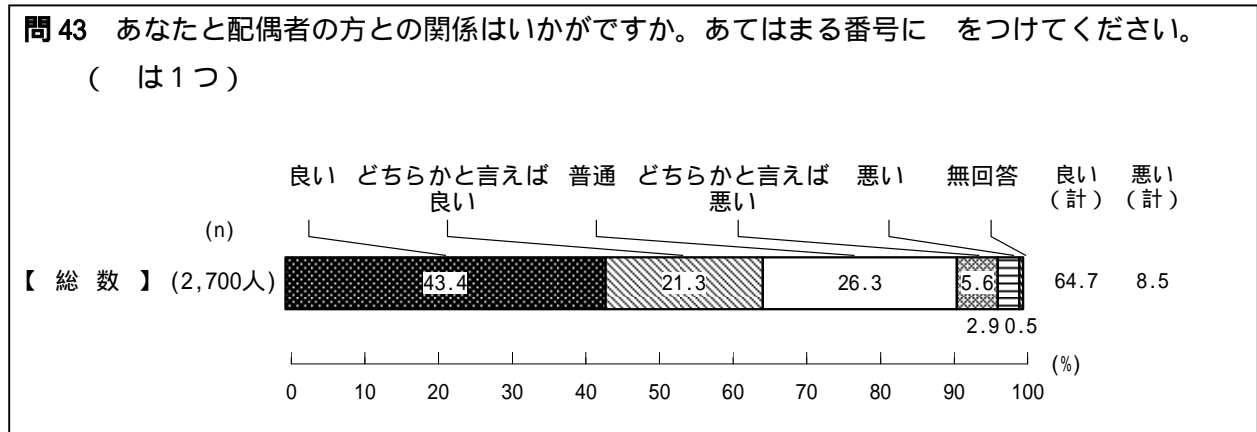
子どもの教育費に関する金銭的給付	地域における子どもの居場所の提供
保護者がより多くの収入が得られるようになるための就労の支援	子どもやその家族等からの相談窓口の充実
保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供	その他
学校以外での子どもの学習の場の提供	必要なものはない
自然体験、集団遊びなど、子どもに多様な活動機会の提供	わからない

また必要な支援策の組み合わせをみると、相対的貧困層では「子どもの教育費に対する金銭的給付」を中心とした上位4つ（ ）の組み合わせが全体の約4割を占めるが、相対的貧困層でない層は約25%となっている。

上位4つの組み合わせは以下のとおり

- 1 「子どもの教育費に対する金銭的給付」のみ
- 2 「子どもの教育費に対する金銭的給付」 + 「保護者がより多くの収入を得るための就労支援」
- 3 「子どもの教育費に対する金銭的給付」 + 「保護者がより多くの収入を得るための就労支援」 + 「保護者が家にいないときに子を預かる場・サービス」
- 4 「子どもの教育費に対する金銭的給付」 + 「保護者がより多くの収入を得るための就労支援」 + 「学校以外での学習の場の提供」

55 配偶者との関係



子の親が回答しており、かつ問 39 で「現在、配偶者がいる」と回答した保護者に、配偶者との関係について聞いたところ、「良好」が 43.4%、「どちらかと言えば良好」が 21.3%となっており、『良好』(「良好」+「どちらかと言えば良好」)(64.7%)は 6 割半ばとなっている。

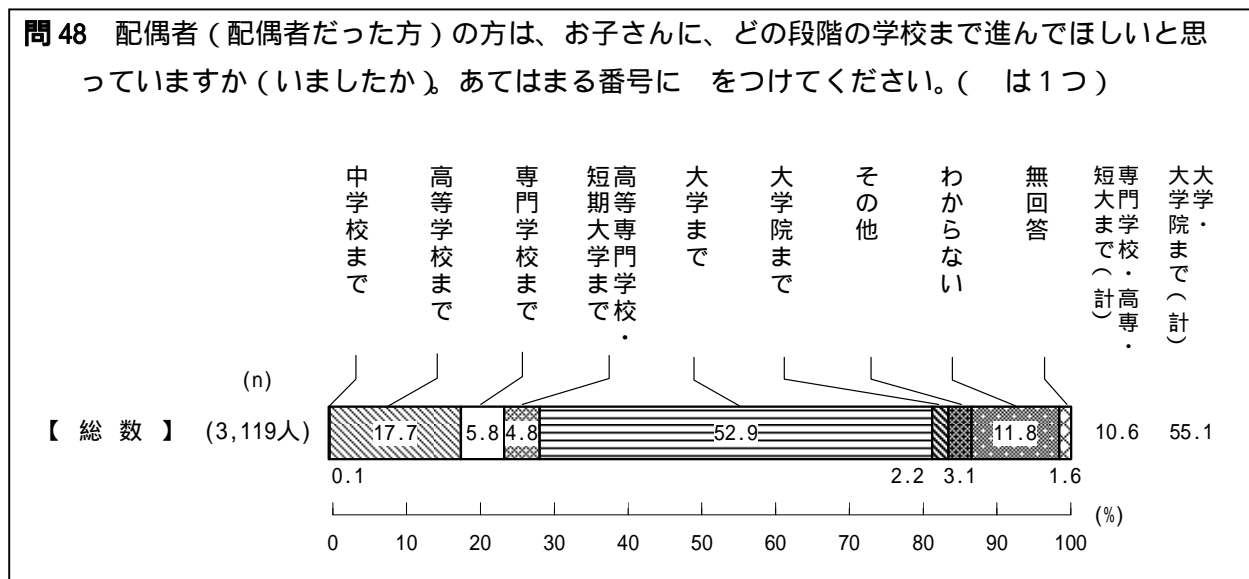
表 -2-30 配偶者との関係 (相対的貧困層別 / 親構成別)

	n (人)	良好	えど ば ら か と 言 え ば 良 い か と 言	普通	えど ば ら か と 言 え ば 悪 い か と 言	悪	無 回 答	良好 (計)	悪 (計)
〔相対的貧困層〕									
相対的貧困層	217	33.6	24.4	30.4	4.1	6.9	0.5	58.1	11.1
相対的貧困でない層	2407	44.6	21.0	25.6	5.8	2.5	0.5	65.6	8.4
〔親構成〕									
ふたり親世帯 (実父と実母)	2569	43.2	21.3	26.7	5.6	2.9	0.4	64.4	8.5
ふたり親世帯 (それ以外)	75	58.7	24.0	10.7	5.3	1.3	-	82.7	6.7
ひとり親世帯	-	-	-	-	-	-	-	-	-

相対的貧困別に見ると、「良好」は相対的貧困層 (33.6%) では 3 割前半にとどまっているが、相対的貧困でない層 (44.6%) は 4 割半ばに達している。

親構成別にみると、『良好』はふたり親世帯 (実父と実母)(64.4%) では 6 割半ばにとどまっているが、ふたり親世帯 (それ以外)(82.7%) では 8 割前半に達している。

56 子の理想的な学歴（配偶者）



子の親が回答しており、かつ問 39 で「現在、配偶者がいる」または「いない（離別した）」または「いない（死別した）」と回答した保護者に、配偶者が子にどの段階の学校まで進んでほしいと思っているか（いたか）について聞いたところ、「大学まで」が 52.9%、「高等学校まで」が 17.7%、「専門学校まで」が 5.8% となっており、『大学・大学院まで（「大学まで」 + 「大学院まで」）』は 5 割半ば（55.1%）となっている。

表 -2-31 子の理想的な学歴（配偶者）（相対的貧困層別 / 親構成別）

	n (人)	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで	短期大学・専門学校まで	大学まで	大学院まで	その他	わからない	無回答	短大・専門学校・高専まで（計）	大学・大学院まで（計）
〔相対的貧困層〕												
相対的貧困層	419	0.5	29.6	6.0	3.8	25.8	0.5	3.1	28.2	2.6	9.8	26.3
相対的貧困でない層	2602	0.1	15.8	5.8	5.1	57.3	2.4	3.1	9.0	1.4	10.9	59.6
〔親構成〕												
ふたり親世帯（実父と実母）	2569	0.0	17.0	5.7	5.2	59.3	2.6	3.2	5.7	1.2	10.9	61.9
ふたり親世帯（それ以外）	75	1.3	40.0	17.3	1.3	22.7	-	9.3	6.7	1.3	18.7	22.7
ひとり親世帯	419	0.5	18.6	3.6	1.9	19.8	0.2	1.4	50.6	3.3	5.5	20.0

相対的貧困層別にみると、『大学・大学院まで』は相対的貧困層（26.3%）よりも相対的貧困でない層（59.6%）で多く、33.3 ポイント上回っている。一方で、「高等学校まで」は相対的貧困層（29.6%）が約 3 割となっているが、相対的貧困でない層（15.8%）では 1 割半ばにとどまっている。

親構成別にみると、『大学・大学院まで』はふたり親世帯（実父と実母）（61.9%）がふたり親世帯（それ以外）（22.7%）、ひとり親世帯（20.0%）より多く、それぞれ 39.2 ポイント、41.9 ポイント上回っている。一方で、「高等学校まで」はふたり親世帯（実父と実母）（17.0%）が 1 割台後半となっているが、ふたり親世帯（それ以外）（40.0%）では 4 割に達し、23.0 ポイント上回っている。